

第七十四回 帝國議會衆議院 保險業法改正法律案委員會議錄(速記)第六回

付託議案 保險業法改正法律案(政府提出)

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年三月四日(土曜日)午前十時二十

五分開議

田居季貞方

委員長 田中 亮一君

理事寺島 権藏君 理事木村 淺七君

理事金澤 正雄君 理事西川 貞一君

八木 逸郎君

篠原
陸朗君

紅露
昭君

中村 高一君

出席國務大臣左ノ如シ

高工大臣兼拓務。

府委員左ノ如

大藏政務

陸軍政務

商工政務

商工參政

商工省保險

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

卷之二

宋金書記官

保險事務官 吉岡千代三君

第六類第十四號 保險業法改正法律案委員會議錄

第六回 昭和十四年三月四日

會議錄(速記)第六回

付託議案
保險業法改正法律案(政府提出)

トガ出来ナカツタガ、其ノ會社ハ能ク理想ヲ行フコ
ヲ行ツテ居ルト感心シテ居ルノデアリマス、
又一億万圓前後ノ會社モ立派ナ會社ガアルノデアリマス、然ルニ弱小會社弱小會社
ト云フコトガ世間ノ普通ノ熟語ノヤウニナリ、而シテ弱大會社ト云フコトノ言葉ガ一
向現ハレナイ、強小會社ト云フ言葉モ一向
現ハレナイ、唯大キイ會社ハ確ツカリシテ
居ル、小サイ會社ハイケナイカノ如ク言ハ
レテ居ルコトハ遺憾ニ思フノデアリマスガ、
政府ハ弱大會社ト云フモノガアリハセヌカ
ト云フヤウナコトヲ御考ニナツテ居リハセ
ヌカ、而シテ弱小會社、小サクテモ立派ニ
ヤツテ居ルト云フヤウナ會社ハ、御認ヌニ
ナツテ居ルノカ居ラヌノカ、斯ウ云フコト
ヲ先ヅ承ツテ見タイノデアリマス、ソレヲ
先ヅ御尋ラシテ、サウシテ、今回此ノ改正
法案ヲ御出シニナリマシタ時ニ、是ハ全ク
「デマ」トハ存ジテ居リマスガ、此ノ改正案ガ
出ルトカ、出ヌトカ云フ噂ノ時代ニ、五大
會社、更ニ又三大會社、八大會社ヲ殘シ
テ、サウシテアトノ二十會社餘リノモノ
ハ整理シナケレバナラヌ、合併サセナケ
レバナラヌト云フヤウナコトヲ政府デ
御考ニナリ、ソレガ發端デ此ノ改正案が出

タカノ如ク評判ガ立ツタノデアリマス、而シテ此ノ評判ハ何處カラ出タカ存ジマセヌガ、全ク無イ「デマ」デナクテ有ル「デマ」モアリマス、斯ウ云フ「デマ」ガアルト云フトガ結局此ノ保険會社ノ進歩ヲ妨ゲ、而シテ先程申スヤウナ、善クテモ惡クテモ、保険ノ高ノ少イモノハ世間デ惡ク言ハレルト云フコトガ、斯ウ云フ「デマ」ガ出マスルト、ソレガヨリ強クナリマス、サウシテ小サク堅クヤツテゴザル會社ニ對シテ非常ニ邪魔ニナツテ眞面目ヲ不眞面目ニ陷レルト云フヤウナコトニ相成ルコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ向ツテ政府ハ、サウ云フ「デマ」ガ「デマ」デアツテ本當デナクンバ、將來ドウシテ之ヲ防グヤウナ方法ヲ御執リニナルカ、唯政府ガ、アレハ「デマ」デス、商工省ハ何モ知リマセヌト云フコトダケデハ濟マヌコトデアリマス、斯ノ如クニシテ保険會社ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトニナレバ、或ハ警視廳ノ手ヲ煩ハシ、或ハ他ノ方法ヲ煩ハシテモ、此ノ事ニ付テ目ヲ著ケテ戴イテ、サウシテ左様ナコトアラシメナイヤウニシテ戴クノガ、政府ノ行ヒヂヤツテ政府ハドウ考ヘテ居ラレルカ、更ニモウツ績イテ大キナ事ヲ申シマスレバ、本

年バカリデナイ、チヨイヽ何時モ議會ニ於テ現ハレマスノハ、恰モ此ノ保險會社ハ國營ニスル方ガ宜イト云フコトデ、紅露ニシテソノ御言葉ノ中ニモアリマシタガ、斯ウ云ハレル、其ノ言葉ヲ引ツ繰返シテシマツタラ、斯ウ云フ不都合ナ事ガアルカラ國營ニシテジマヘ、國營ナラ宜イヂヤナイカ、國營ナラ宜イノダカラ、サウシナケレバナラスヂヤナイカ、斯ウ云フヤウナ意味ニ取レ、又主務大臣ナドモ或ハ他ノ大臣ナドモ、國營ト云フモノニ對シテハ大イニ考察ヲ致シマセウト云フヤウナ言葉ガ何時デモノノラヌ時ニハ大臣ハ考究シマスト言ツテ居ル、熱心ニ間フ人ハドウカト言ヘバ、其ノ時ダケノ熱心デ、其ノ次ニ何處マデ考究シタカ、何處マデヤツテ居ルカ、ドウ云フ組織ニシテ考究シタカト云フコトハ、チヨツトモ聽カヌ、ソレデ何時デモ濟マシテ居ルノデスガ、結論ハ、何トナク國營デアリサヘスレバ結構ナノヲ、今マデ國營ニシナカツタカラ、ソレデ此ノ儘デ置イテヤツテ居ルゾ、ト言ハヌバカリノ言葉ガ現レル

セヌ、國有論ノ眼カラ見マスレバ國有ノ點
ハ十分ニアルノデアリマス、併シナガラ國
有デナクテモ宜イト云フ論點カラ申シマシ
タラ、國有必ズシモ是ナリトハ言ヘナイ理
窟ガ、隨分現ハレ得ルノデアリマス、而モ
ソレ以上デアリト致シマスルトモ、現在ノ
如ク何百億ト云フ契約ガ現ハレマシタノニ、
假ニ國營ニ致シマスト、其ノ所有シテ居ル
所ノ何十億万圓ノ投資シタ株券ガドウナル
カ、財界ガドウナルカ、斯ウ云フコトヲ考
ヘテ見タナラバ、國營々々ト言ツテ、國營
デナケレバナラスト云フ理想ガ宜イト致シ
マシテモ、サウ云フ聲ガ餘リ立テラレナイ
ノデアリマス、然ルニ政府ハ考究スル、斯
様ニ言ハレルト、保險會社ハイツ何時國營
ニサレルカモ分ラヌト云フコトデ、業務上
不安ノ念ニ驅ラレルト云フコトガ、ドウシ
テモ現ハレテ來ル、非常ニ心配致シマスレ
バ、イツ何時サレルカ分ラヌカラ重役連中
ガ狡イコトデモシテ始末ノイカヌヤウナ悪
ルサノ考ヲ起スカモ分ラヌト思フノデアリ
マス、故ニ此ノ點ニ向ツテハ此處ニ大臣ハ
居ラレマセヌガ、國營モ將來何百年ノ後ハ
是ハ仕方ガアリマセヌガ、政府ハ國營ヲ絶

示シニナルコトガ、私ハ必要デハナイカト
思フ、ドウモ國營ハ宜インダ、併シナガラ
今斯ウヤツテ居ルカラ、段々考ヘテサウス
ルト言ハンバカリノ曖昧ナコトヲ言フト云
フコトガ、保險會社ニ非常ニ不安ヲ與ヘヤ
セヌカト思フノデアリマス、又議員ソレ自
身モ國營論者デアレバ、此ノ國營論者ハ得

タリ賢シトシテツイ話ガ進ムト、國營々々
ト云フ言葉ガ出テ來ハセヌカト思フ、是ハ
シタカ、紅露君ガ保險會社ノ不都合ナコト
ヲ大變御述ベニナリマシタ中ニ、約款ノコ
トデ色々保険金ヲ拂ハシタトカ云フコトノ
實例ヲ述べラレタノデアリマスガ、其ノ例
ノ大會社ガ、三ツノ會社ハ拂ツタケレドモ
一ツノ會社ハ拂ハナイト云フヤウナ例デ、
自分方御關係ニナツタキヤウナコトヲ、御話
ニナリマシタガ、私ハドンナ事カ實ハ
存ジマセヌガ、會社側カラ考ヘマシタナラ
バ、成程約款ヲ一々讀ンデ契約ヲ爲サルコ
トハアリマセヌ、併ナガラ約款ヲ楯ニ取ツ
テ拂フベキモノマデモ拂ハズニヤルト云フ
年モ三十年モ前ニハアリマシタケレドモ、
現在ハ逆モサウ云フコトハ出來マセヌ、例
ヘバアノ例デモ、一會社ダケ拂ハナイト云

フノハ、一會社ノ契約ハ何年カ遲ク契約シタモノデハナイカ、例ヘバ二年拂込ンデアト三年目ニハドンナ事ガアツテモ——自殺シヨウガ、既往症ガアラウガ拂フト云フコトデ縛レル、縛レルト保険會社ガ拂ハスト云フコトガ評判ニナルト宜クナイカラ、成ベク拂フベカラザル金マデモ餘計出シテ仲裁ヲスルトカ、或ハ妥協ヲスルト云フコトガアルノデアリマス、併シ斯ウ云フコトガ本デ國營々ト云フヤウナコトガ現ハレマシテハ、洵ニ保険會社ニ取りマシテハ氣ノ毒デアルト思フト同時ニ、保険會社ガ堅實ニ發達シテ行クコトヲ妨ゲルコト大ナルモノガアリハセヌカト思フノデアリマス、今ノ商工省デハサウ云フコトハアリマセヌガ、十七八年前カ十五六年前カ、其ノ保険會社ガ契約者ニ約束ノ金ヲ拂ハスト云フコトデ、ソレヲ拂ハサナケレバナラスト云フコトガ當局ノ主義トナリマシテ、サウシテドンナ無茶ナ契約デアツテモ保険會社ニ手紙一通出シテ、保險金ヲ其ノ會社ニ拂ヘト云フコトデ、非常ニ拂ハスコトノ好キナ保険課長ガアツタノデアリマス、併シ保険會社ハ斯クノコトデモ拂ナケレバナラヌ

カト云フヤウナコトデ、其ノ保険課長ハソ
レカラ暫クシテ辭メタト云フヤウナコトガ
アリマス、其ノ課長サンハ何モ惡ルサデヤ
ナイケレドモ、保険會社ハ小サイ千圓ヤニ
千圓ノ金デ辯護士料ヲ拂ツテヤルト云フコ
トハ苦シイカラ、泣寢入サスモノノ如ク取
ツテ居ラレタモノト見エルノデアリマス、
併シ爾來保険會社ハ左様デナインミナラズ
拂ハナイト云フ評判ヲ立テラレルコトガ苦
シイ爲ニ、拂フベカラザルモノモ好イ加減
ニ拂フト云フコトガ隨分アリマシタ、ソレ
ガ實際立派ナ方デ、立派ナ人格デ、肺病デ
アル、サウシテ熱ガドン／＼出テ居ル者モ
入レテ置イテ、ドウシテモ契約ヲ多ク取ラ
ナケレバナラスト言ツテ居ルヤウナ事實モ
澤山アルノデアリマス、畢竟スルニドウシ
テサウ云フコトガアルカト云ヘバ、各會社
デ使フ外務員ガ一番惡イノデス、外務員ガ
惡イノダカラ、一面カラ言フトオ前ノ所ノ傭
責任デヤナイカト云フ理窟モ附クノデアリ
マス、併シナガラ外務員ガマルデ詐欺半分
ノコトヲシテ、サウシテ取ツテ來タ、契約
者モ能ク分ツテ居ル、分ツテ居リナガラ一
旦契約シタノダカラ、死ンダラ金ヲ取ラウ
ト云フコトデ、脅迫ガマシク迫ルト云フヤ

ウナコトガアルノデアリマス、紅露サンガ
申サレタヤウニ、初メハ少ナカツモノガ
半分ニ負ケ、到頭何ヤラ云フ名前デ拂ツタ
其ノ中ニ戰地デドウヤラシタト云フコトデ
戰争ニ行ツテ居ルノニ留守中ニ契約ノ金ヲ
拂ハナカツタト云ヘバ大變ナ評判ニナルカ
ラ、ソレデ到頭拂ツタノデアリマセウガ、
サウ云フ意味モアルノデアリマスカラ、會
社ヲ良クシ、又契約者ヲ保護スルト云フニ
ハ、此ノ外務員制度ヲ立派ニシテ行ク、斯
ウ云フコトガ私ハ最モ政府トシテヤルベキ
コトデヤナイカト思フ、之ヲオヤリニナル
ノニ、別ニ勅令若クハ省令デオヤリニナル
積リカドウカ、此ノ法案ニハソレ等ノコト
ニ付テ一向觸レテナイノヲ、私ハ甚ダ
遺憾ト致スノデアリマス、此ノ點ニ向
ツテ政府ハドウ云フ御考デ居ラツシヤルノ
カ、ソレヲ私ハ聽キタイノデアリマス、先
ヅソレダケヲ先ニ一つ承ツテ置キマシテ、
尙ホボツ々御伺致シタイト思ヒマス、
○牧政府委員 御答ヲ申上ダマス、此ノ法
律案ヲ提出致シマシタニ付キマシテ、御理
解アル御意見ヲ拜聽致シマシテ感謝ニ堪ヘ
マセヌ、先ヅ御尋ノ第一點ハ、保險會社ニ
不良ナ成績ヲ生ジタモノガアル、其ノ原因
ハドウ云フ點ニアルト考ヘルカト云フ御尋

デゴザイマス、保険會社ニ不良ナ成績ヲ生ジタ過去ノ例等ニ付キマシテ、當局ト致シマシテ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲマスト、御承知ノ通り保険事業ハ性質上非常ニ不確定ナ危険率ヲ含ンデ居ル譯デゴザイマス、此ノ不確定ナ危険率ヲ或ル一定ノ豫想ノ下ニ安全率ヲ加味致シマシテ、保険料其ノ他或ヒ契約者ニ對スル金額等ヲ豫定シタ計畫デ保険ノ經營ヲシテ居ル譯デアリマスガ、色々種類ノ保険ノ中ニハ、或ハソレガ一般民間ノ事業ニ投ズルモノモアリマスシ、又其間ノ事業ニ投ズルモノモアリマスシ、又其ノ不確定ナ危険率ガ一應付ケタ見込ト同ジヤウニ行カナイヤウナ場合モアルカト考ヘラレマス、是等ノ場合ニ於キマシテハ豫想合モアラウカト考ヘラレマス、一番大キナ原因トシテ感ジラレルノハ、御承知ノ通りシタダケノ業績ヲ擧ゲルコトガ出來ナイ場合モアラウカト考ヘラレマス、其ノ競争ノ激シクナツタ揚句ハ不當ナル程度ニ達スルコトガアルノデアリマス、是等ノ不當ナル競争者ノ爲ニ、其ノ競争ニ敗ケタモノハ業績ヲ悪クスルト云フヤウナ傾向ニアルデアラウト考ヘマス、結局競争ノ弊ト申シマスカ、是ガヤハリ不良ナルモノヲ生ジタ原因ニナラウカト思ツテ居リマス、又御尋ノ點ニ依リマシ

テ、監督ノ任ニ在ル者トシテ考慮シナクテ
ハナラヌ點モアラウカト考ヘマス、是ハ今
後是等ノ原因ニ付キマシテ十分研究ヲシマ
シテ、監督ニ付テ十分注意シナクテハイカ
ナイ、隨テ率直ニ申シマスト監督ノ不行届
ニ依ル、成績不良ノモノモアラウカト考ヘル
ノデアリマス、唯此ノ法案ヲ提出シマシタ
ノハ、ソレ等ノ點ヲ加味シマシテ監督モ十
分出來ルヤウニシテ戴キタイト云フ考ヲ含
シデ居ル譯デゴザイマス、尙ホ弱小會社ト
云フ言葉ガアルガ、ソレニ付テノ考ハドウ
カト云フ御尋デゴザイマスガ、政府ト致シ
マシテハ弱小會社ト云フ言葉ヲ使ツタコト
ハゴザイマセヌ、御說ノ通リニ小サイモノ
デモ内容ガ堅實デアリマシテ非常ニ良イモ
ノガアルト云フコトヲ、當局トシテハ認メ
テ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ規模ノ
大小ニ依リマシテ業績ノ良否ヲ判断スルヤ
ウナ意味ノ弱小會社ト云フヤウナ言葉ハ不
當デアルヤウニ考ヘマシテ、使ツタコトハ
ナイノデゴザイマス、整理ニ關スル御尋デ
ゴザイマスガ、此ノ法案ガ提出サレルト云
フ噂ガ立ツタ時以來、或ハ御話ノヤウニ八
大會社ニシテシマフ、或ハ契約五億以下ノ
モノハ潰シテシマフノデアルト云フヤウナ
流說ガアツテ、之ガ爲ニ業界及ビ契約者ニ

不安ナリ、御迷惑ヲ掛ケテ居ルコトヲ、非
常ニ遺憾トシテ居ル譯デアリマス、昨日紅
露サンカラ此ノ點ニ付テ強キ御質問ガヨザ
イマシタ、之ニ付テ詳シク御答ヲシタノデ
ゴザイマス、尙ホ本會議ニ於キマシテモ、
サウ云フ意味ノ御質問ガアリマシテ、大臣
カラ御答シタノデアリマスガ、同ジヤウナ
事ヲ繰返スコトヲ避ケマシテ、此ノ點ニ關
善委員會ニ掛ケテ此ノ要項ガ出來、其ノ要
項ニ則リマシテ此ノ法案ガ出來タノデゴザ
イマスガ、此ノ委員會ニ於キマシテハ先ヅ
第一ニ諮問事項ハ保険行政ノ整備改善ヲス
ル爲ニ業法中改正スペキ點ハドウデアルカ
ト云フ諮問デアツタ、併シ最近國營ト云フ問
題ガアルガ、此ノ問題ハドウスルカト云フ問
題ニブツカツタノデゴザイマス、其ノ時ニ
政府ト致シマシテハ國營ニ付テハ色々ナ議
論ガアルガ、色々ナ主張ニ對スル反對論等
ヲ色々研究シテ見マシテ、目下ノ所デハ國
營ニスル意思ハナイノデアル、隨テ業法ヲ改
正スル點ニ付テ御審議ヲ願ヒタイ、其ノ御
審議ヲ願ヒタイ點ハ從來ノ經驗ニ依リマシ
テ、尙ホ一層業績ヲ向上セシムル爲メノ手
段ヲ色々盡サナケレバナラヌ、ソレ等ノ手

段ヲ法律ニ規定シテ戴キマシテ、從來不備デアツタ點ガ十分満足ノ行クヤウニ、法律制度ヲ改メタイノデアル、ソレト同時ニ從來ノ監督上ノ經驗カラ申シマスルト、若シ萬一不良ナル會社ヲ生ジタ時ニ、處理スル手續ガ法律上ニ規定セラレテ居リマセヌト、非常ニ契約者ニ迷惑ヲ掛けル例ガ過去ニ澤山ゴザイマスガ、一度不良ナルモノガ出来マシテ、其ノ整理ガ手取早ク旨ク行キマセヌト、其ノ間ニ契約者ノ不安ガ増シマシテ、解約ガ非常ニ増加スル、是ハ契約者保護ノ爲ニスル處置ガ却テ契約者ニ不利益ナ結果ヲ齎スヤウナ結果ニナルノデアリマシテ、監督ノ責任ヲ持ツモノトシテ最モ堪へ難イ苦痛デアルカラ、若シ萬一不良ナルモノヲ生ジタ場合ニ處スベキ法律上ノ手段ヲ豫メ備ウル意味デ、規定シテ戴キタイト云フヤウナ話ヲシタノデゴザイマス、隨テ今回ノ法ニ書イテアル根本趣旨ハ、萬一不良會社ヲ生ジタ場合ニ契約者保護ノ見地カラ是等ノ人ニ不利益ヲ與ヘナイヤウニ、手際好ク處理出來ルヤウニシタイト云フルデアラウト云フヤウニ言ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ今申上ダタヤウナ趣旨以外

ニ、モウ少し考へテ居る所ガゴザイマス、
是ハ積極的ニ保険會社ヲ整理合同スルト云
フヤウナコトハ、契約者保護ノ精神カラ言ヘ
バ言ヘルコトデハナイト考へテ居リマス、
ト云フノハ、積極的ニアノ會社ガイケナイ、
此ノ會社ガドウト云フヤウナコトデ、目指
シテ整理ニ掛ルト云フコトハ、必ズ今申上
ゲタヤウニ、多數ノ契約者ノ契約ガ落チテ
來ル、契約ノ存續ト、契約ガ其ノ儘維持セ
ラルルコトヲ監督ノ要締トシナケレバナラ
ナイ監督行政ニ於テハ、最モ拙イコトデア
ルト考へテ居リマス、隨テ此ノ法律ニ依リ
マシテ、多數ノ會社ヲ急激ニ整理合同スル
ト云フヤウナ流說ニハ、殆ド迷惑ヲシテ居
ルヤウナ狀態デアリマス、外務員制度ノ改
善ニ付テ、非常ニ私共トシテ考へナケレバ
ナラナイ御意見デアリマシテ、昨日モ紅露
サンノ御質問ニ對シテ御答シタノデアリマ
スガ、御承知ノ保険募集取締規則ヲ厲行ス
ルコトニ依リマシテ、相當效果ヲ擧ゲ得ル
トハ思ヒマスガ、尙ホ行届カナイ點ガア
ルヤウニ考へテ居リマス、隨テ之ヲ、或ル
程度改メルトカ、其ノ募集取締規則バカリ
デイカナイ時ニハ、尙ホ一層強力ナ取締ノ
方法ヲ講ジマシテ、外務員ガ契約者ニ對ス
ル關係ニ於ケル諸種ノ弊害ヲ、斷乎トシテ

○八木委員 大體割合御親切ナ御答デ結構
デアリマスガ、外務員ノコトニ付テノ御意
見ヲ私承ラナカツタノデ、二重ニナツテ相
濟マヌノデアリマスガ、尙ホ一應申シテ置
キタインハ、現ニ省令デ御承知ノ通り外務
員ノ取締規則トデモ申シマセウカ、サウ云フ
ヤウナモノガアルノデアリマス、然ルニ恐
ラクハ此ノ外務員制度ガ出來テカラ一人ト
シテ此ノ省令ノ下ニ縛ラレタトカ、或ハ此
ノ省令ノ下ニ外務員ヲ引上ガラレタト云フ
モノガ、何万人アル中ニ何年間ニ一人モナ
カツタ、一人モナカツタダケソレダケ省令
ガ行ハレテ居ルカト言ヘバ、省令ハ昔ノ通
リアル、是ハ私甚ダ遺憾ニ居フノデス、何
カ方法ハナイカ、實ハ此ノ制度ガ出來タノ
ハ政府自ラガ認ヌタノデナク、色々ナ方面
カラドウモ奪略ヲスルコトガ甚シイ、斯ウ
云フコトガ投書デアリマスカ建議デアリマ
スカ、役所ニドンヽ來タ、役所モ忽セニ
スルコトガ出來ヌト云フノデ、保険協會ノ
理事長ヲ呼ンデ、斯様ナコトガアツテハイ
レバ、政府ガ手ヲ出シテヤルゾト云フコト
ヲ申サレタ結果、保険協會ノ理事長ハ保険

協會デ保險會社全體ヲ呼ンデ、如何ニシタ
ラ宜イカト云フコトヲ聞イテ研究サレタ、
トハ、甚ダ自尊心ヲ傷ケル、是ハ自ラ戒メ
テ、自ラ約束ヲシナケレバナラスト云フノ
デ、規則ト申シマスカ、申合セト申シマス
カガ出來タ、私ハ丁度其ノ時分ニ幹事ヲシ
テ居ツタノデアリマスガ、溫泉ニ行ツ
テ居リマシタガ、無理ニ其ノ時ニ歸ツテ
來テ、斯様ニ申シタノデアリマス、此
ノオ互ノ約束規定ハ餘程前カラアツタノデ
ス、文字ハ變ツテ居ツタリ、形ハ變ツテ居
ツタリシテ居ツタケレドモ、前カラアツタ
ノニ一向行ハレス、此處ニ明治サンガ居ル
ガ、明治サンハ厲行シテ欲シイト云フコト
ヲ一遍前ニ言ハレタ、所デソレハ尤モヂヤ
ト云フコトデ誰モ異議ハナク、厲行スルコ
トニ決マツタガ、チツトモ厲行出來ナイノ
デ、甚ダ口幅ツタイコトヲ言フヤウデスケ
レドモ、明治サンモオヤリニナリ掛ケタ、
今度自治的ニ是レダケノ申合セヲシテ、必
ズ行ハレルト思ツタラ私ハ印ヲ付ケマスガ、
ソレデナケレバ御免被ルト云フヤウナコト
ヲ申シタ、ソレデ結局協定ヲショウ、併シ
ナガラ政府ノ力ヲ借りルト云フコトデ、總

段々實際考へて見マスルト、隨分露骨ニヤ
ガ、現在ノ省令デアルノデアリマス、所デ
ル、例ヘバ保険雑誌ナドハ二十年前ニハ六
ツカ七ツデアツタソガ今ハ何十トアル、保
イ、ソレデ保険會社ガ此ノ何十ト云フ保険
雑誌ヲ育テ居ルト云フヤウナ次第デア
ル、一万モ二万モ取ツテ他ノ會社ノ惡口ヲ
書イテ、ソレヲ外務員ニ持タシテ契約破リ
ヲヤル、斯ウ云フコトガ事實現在流行ツテ
居ル、或ル人ガ曰ク、クドク何遍モ來ラレ
ルカラ、段々考ヘルトサウヂヤナイカト思
ウテ、然ラバモウ一遍考ヘルカラト言ツ
テ、書イタ書付ナリ、君ノ名刺ヲ置イテ行
ツテ吳レ給ヘ、此ノ次ニ返事ヲスルカラト
言ツタ時ニ、是ハ唯御話スルダケデアルカ
ラト言ツテ、名刺ナリ書イタモノナリヲ持
ツテ逃げテ歸ツテシマツタカラ、解約ヲ濫
リニ勸メニ來ルノヲ斷ハルニハ、名刺ト書
イタモノヲ引上ゲルニ限ルト言ツタ、斯ウ
云フヤウナコトガアル位ヒトイコトニナツ
テ居ル、然ラバ何故其ノ人ガ届ケヌカ、斯
イト言ツテ届ケヌカト言ヘバ、自分ハ何モ
保険ヲ掛ケテ居ルノソソンナ餘計ナコトマ

デスル必要ガナイト言ツテ誰モシナイ、サウ云フヤウナコトデ實際省令ハ行ハレテ居リマセヌケレドモ、何トカ是ハ工夫ガアリサウナモノダト思フノデアリマス、常識カラ考ヘタナラバ、保險雜誌ヲエライ攻撃ヲスルヤウデスケレドモ、三十モ五十モ七十モアツテ飯ガ食ヘル譯ガナイ、誰モ取リヤシナイ、唯保險會社ガ之ヲ養ツテ居ルト申シテ宜イ、其ノ養ヒ方ガ愉快ニ養ツテ居ルカ、脅迫ニ養ツテ居ルカ、利用ニ養ツテ居ルカト云フダケノ話デアル、是デハ保險ハドウニモナラヌ、亞米利加デ三ツノ大キイ會社ガ其ノ額ヲ誇ランガ爲ニ非常ナル競争ヲヤツタ、遂ニ政府ハ此ノ競争的ノ募集ヲ止メルヤウニシタト云フ實例ガアル、又一面良イ方カラ言ツタラ、英吉利ノ一番最初ニ掩ヘタ古イ保險會社ハ、契約ハ少イケレドモ、契約ノ希望者ヲ入レルト云フコトデ内容ヲ確實ニシテ眞面目ナ契約者ヲ取リタ伊ト言ツテ、依然トシテ眞ノ保險會社ノ形ヲ取ツテ居ル保險會社モアルノデゴザイマス、私ハ能ク申シタコトデアリマスガ、アナタ方ノオ顔ヲ見ルト、實ニ立派ナ紳士デアルシ、又立派ナ行狀ヲナサル敬フベキ紳士デアルガ、然ルニ其ノ紳士ガ經營シテ居ル會社ノ行動ハドウシタノデセウト言ツテ、大勢

ノ前デ冷カシタコトモアル位デアリマス、弱小會社ノ方デハソンナコトヲ言ウテ歩クトハ仰シヤルマイガ、大會社ガ其ノ大會社ヲ看板ニシテ小會社ヲ虐ヌタリ、契約ヲ叩キ壊シタリスルノデアリマス、併シナガラ主ガ損シヨウガチツトモ構ハヌガ、損ヲスルモノハ契約者デアリマス、一旦契約シタモノヲ途中デブチ壊シテ、サウシテ又他ノ會社ニ入ル、是程契約者ノ損ナコトハナイノデアリマス、私ハモウ一ツ始終驚イテ居ルコトガアルノデアリマス、何十億ト云フ會社ノ満期保險ガ七十萬圓乃至百万圓位ニナルコトガアルノデアリマス、何十億ト云フ會社ノ満期保險ガ三百万圓モ四百万圓モノ滿期保險ガ出來テ拂ハナケレバナラヌ、コンナ理窟ハドウシテモナイ、此ノ點ナンカハ保險局デ御調べニナツタラ直グ分ル、分ツタラ其ノ現象ハ何ニ因ツテ起ルカト云フコトヲ御推測ニナツタラ、如何ニ惡辣デアルカト云フコトガ直グ分リマス、ソレニ付テ一向何等御咎メモナカツタヤウニ思フノデアリマス、私ハモウ質問ハ止メマスガ、ドウカ一ツ、此ノ改正案ガ商法ノ規定ニ副フト云フコトハ無論ノ話デアリマスガ、ソレト同

ノ保護スル上ニ於テ立案サレタト致シマスレバ、ソレコソモツト能ク御親切ニ御調査シテ、サウシテ惡弊ノアル所ヲ御トハシタルマジタラ、其ノ惡弊ヲ除去セラタ、併シ其ノ時ハ幾ラノ會社デアツタカ分キ壞シタリスルノデアリマス、明治二十二年ニハ日本生命ガトハミシタコトヲ置キタインデアリマス、ソレカラ私はカラ逐條ニ入ツテ御伺シタイト思ヒマスガ、第三條ニ「保險事業ハ資本モノヲ途中デブチ壊シテ、サウシテ又他ノ會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ」又ハ基金ノ總額十万圓以上ノ株式會社又ハノデアリマス、私ハモウ一ツ始終驚イテ居ルコトガアルノデアリマス、何十億ト云フ會社ニ入ル、是程契約者ノ損ナコトハナイノデアリマス、私ハモウ一ツ始終驚イテ居ルコトガアルノデアリマス、何十億ト云フ會社ノ満期保險ガ七十萬圓乃至百万圓位ニナルコトガアルノデアリマス、何十億ト云フ會社ノ満期保險ガ三百万圓モ四百万圓モノ滿期保險ガ出來テ拂ハナケレバナラヌ、コンナ理窟ハドウシテモナイ、此ノ點ナンカハ保

タカラ、アノ人ニ賴シニテ拂ヘテ見ヨウト云ス、勿論是ハ損害保險ヲ皆混ゼテデアリマス、死人モアレバソレニ拂フトカ云ストカ、死人モアレバソレニ拂ツタリ椅子ヤ「テーブル」ヲ買ツタリ、給料ヲ出ツタト記憶シテ居ル、ソレ程金ノ要ラヌモノデアル、要ルモノハ初ヌ家賃ヲ拂ツタリヌトハ申シマシテモ、昔明治三十年臺ニ要ラヌノガ原則デアリマス、併シナガラ要ラヌトハ申シマシテモ、昔明治三十年臺ニ續々起リマシタ會社デ、續々潰レマシタ會社ノ如キハ、責任準備積立金トシテ積マナケレバナラヌ、モノヲ頭ニ入レヌ、政府モ亦之ヲ許ス時ニソンナコトハ考ヘテヤラナイ、集ツタ金デヤツタラ宜イト云フヤウナ考ガ、其ノ會社ヲ潰スコトニナツタ、明治二十三年ニ日本生命デアリマスカ、片岡サンガ警察部長カラ副社長ニナラレタ時ニ、會社ノ察部長カラ副社長ニナラレタ時ニ、會社ノ株八十万圓デ二万五千圓ノ拂込ガチヤント出来テシマツタ、出來テシマツテカラ保險會社ノ設立ヲ願フノニ、其ノ時ドウ云フ風ニアラウカ、新シイ會社ガ出來テ、十万圓デマス、私ハモウ質問ハ止メマスガ、ドウカデ之ヲヤラスト云フコトハドウ云フモノデアツタ、所ガ其ノ時分ニ政府當局ハ、此果シテソレガ耐ヘテ行ケルカ行ケヌカ、現ニ二十年前ノ大正八年ニ私ガ拂ヘタ會社ノ資本金ハ五十萬圓デ、十二万五千圓ノ拂込

ソコデ理學博士ノ何トカ云フ人ガ大阪ニ來時ニ此ノ契約者ヲ愛スル上ニ於テ、契約者ノ節ハ物價ガ騰貴シテ居ルシ、其ノ半分以

上ハ政府ニ提供シナケレバナラヌカラ、同

ジコトヲシテモ苦シイ目ニ遭ヒハシナイカ、若シ一朝ニシテ死亡ガ三ツモ四ツモ出ルヤ全部拂込ンデ五十万圓デオヤリニナツタラドウカト云フ注意ヲ受ケマシタ、併シ最早四分ノ一デヤルト云ツテ置イタカラ、一年ノ間ニ後ノ三十七万五千圓ハ拂込マセマスシテ繼續シタノデアリマス、サウ云フ譯デアルノニ今日ノ時勢ガ大正八年カラ又物價ガ二倍ニモ三倍ニモナリ、人件費モ大變澤山掛ル時ニ、十万圓ノ會社デ願出シタ場合、法律ニ書イテアルカラ宜シイト云ツテ拵ヘサセテ、其ノ會社ガ旨ク行キマセウカ、是ハモウ少シ親切ニ御考ニナツテ、少クトモ五十万圓カ百万圓ノモノニスルト云フコトガ必要ダト思ヒマス、恐ラク今後ハ損害保險ニ致シマシテモ、生命保險ニ致シマシテモ、十万圓ヤ二十万圓デハ中々困難ダト思ヒマス、斯ル程度ノ新シイ會社ガ出來タナラバ、其ノ會社ハ非常ニ難儀スルヤウナコトガ起ルト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ

ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フ規定ガゴザイマス
ノデ、ソレヲ其ノ儘取りリマシテ改正法ノ第
三條ニ入レタ譯デアリマス、是ハ現行法ト
ノ組合セラ申上ゲタ譯デアリマスガ、實際
上ハ今後新設ハ餘り豫想セラレナインデア
リマス、尙ホ稀ニ新設スルヤウナ場合ガア
ラウカト考ヘマスガ、サウ云フ場合ニハ、
八木サンノ御意見ノ點御尤ト考ヘルノデア
リマス、併シ此ノ規定ハ最小ノ資本金額ヲ
規定シタモノデアルト考ヘテ居リマス、隨
テ必要ガゴザイマスレバ、何カノ際ニ其ノ
資本金ニ付テ考慮セシムル考ヲ持ツテ居ル
ノデゴザイマス、尙ホ此ノ第三條ニ斯ウ云
フ風ニ規定ヲシタノハ、現在存在シテ居リ
マス會社トノ關係ヲ考慮致シマシテ、十万
圓以上ノ會社ニアラザレバ之ヲ營ムコトヲ
得ズト書イタノハ、此ノ金額ヲ上ゲマス
ト總テニ經過規定ガ要ルヤウナ關係ガゴザ
イマスノデ、是ハ最小金額ヲ規定シタモノ
ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

是デ止メマシテ、ソレカラ第十一條ニ「保險會社命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ關シ統制協定ヲ爲シタルトキヘ之ヲ主務大臣ニ届出ヅルコトヲ要ス之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同ジ主務大臣前項ノ統制協定ガ公益ニ反シ又ハ保險事業ノ健全ナル發達ヲ害スト認ムルトキハ其ノ變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得」ソレカラ其ノ次ニ「統制協定ノ加盟會社若ハ非加盟會社ニ對シ其ノ統制協定ノ全部若ハ一部ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得」トアリマスガ、是ハ一寸私意味ガ解ラヌノデスガ、ドウ云フ譯デアリマスカ、ソレカラ假ニ實例ガアレバ示シテ戴キタイト思ヒマス。

當ナ競争ヲ防止シ、事業ノ健全ナ發達ニ資
スル爲ニ、場合ニ依リマシテ當業者ノ統制
協定ニ法律上一定ノ效果ヲ與ヘ、力ヲ與ヘ
ヨウト云フ趣旨デゴザイマス、ソコデ結局
不當競争ヲ防止スル爲ノ統制協定ヲ爲シタ
場合ニハ、ソレニ依ラシメル、其ノ協定方
或ハ公益ニ反スルト云フヤウナ場合、或ハ
逆ニ保險事業ノ健全ナ發達ヲ害スル結果ヲ
生ズルコトヲ豫想セラレル場合ハ、主務大
臣ガ變更取消ヲ命令出來ルコトニナル、又
或ル協定ヲセシメルコトガ非常ニ事業ノ發
展ニ效果ガアル、或ハ事業ノ發展ヲ阻碍ス
ル事項ヲ排除スルノニ力ガアルト云フヤウ
ナコトガゴザイマスレバ、サウ云フ協定ヲ
スルヤウニ命令ヲスルコトガ出來ル、サウ
云フ協定ガ出來マシタ場合ニ、之ニ從ハナ
イ違反者ガアルト云フヤウナ場合ニハ「ア
ウトサイダーハ勿論、「インサイダー」ニシ
マシテモ、ソレニ從ハシムルヤウナ強制命
令ヲ出スコトガ出來ルト云フ規定ノ趣旨デ
ゴザイマス、實例デドウ云フモノガアルカ
ト申シマスト、生命保険デハ或ハ保險契約
ノ募集方法ニ付キマシテ協定ヲスルトカ、
或ハ保険外務員ノ雇傭條件ヲ定メルトカ、
或ハ代理店手數料ヲ定メルト云フヤウナ場
合ガ、豫想セラレルノデアリマス、又損害

五十万圓カ百万圓ノモノニスルト云フコト
ガ必要ダト思ヒマス、恐ラク今後ハ損害保険
ニ致シマシテモ、生命保険ニ致シマシテモ、
十万圓ヤ二十万圓デハ中々困難ダト思ヒマ
ス、斯ル程度ノ新シイ會社ガ出來タナラバ、
其ノ會社ハ非常ニ難儀スルヤウナコトガ起
ルト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリ
マスカ

圓以上ノ會社ニアラザレバ之ヲ營ムコトヲ
得ズト書イタノハ、此ノ金額ヲ上ガマス
ト總テニ經過規定ガ要ルヤウナ關係ガゴザ
イマスノデ、是ハ最小金額ヲ規定シタモノ
ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○八木委員 實際ニ於テ是カラ餘リ願フ
人モナク、願フ時ニハ其ノ願フ人モ考へル
デセウシ、當局モ考ヘルデセウケレドモ、
法律ニ最小限度トシテデモ、全金額ヲ出ス

シテ御尋ニナツタノデアリマスガ、保険事業ニ於キマシテモ適當ナ限度ノ自由競争ハ、保険業ノ改善向上ヲ圖ル上カラ必要デアルト思フノデアリマスガ、先程モ御話ガアリマシタヤウニ餘り激シクナリマスト、事業費ヲ濫費スルトカ、或ハ保険料ヲ無理ナ保険料ニ割引スルトカ云フヤウナコトデ、非常ニ弊害モアラウカト思フノデアリマス、是等ノ弊害ヲ除去スルコトハ、反面ニ於キ

云フ協定ガ出來マシタ場合ニ、之ニ從ハナ
イ違反者ガアルト云フヤウナ場合ニハ「ア
ウトサイダー」ハ勿論、「インサイダー」ニシ
マシテモ、ソレニ從ハシムルヤウナ強制命
令ヲ出スコトガ出來ルト云フ規定ノ趣旨デ
ゴザイマス、實例デドウ云フモノガアルカ
ト申シマスト、生命保険デハ或ハ保険契約
ノ募集方法ニ付キマシテ協定ヲスルトカ、
或ハ保険外務員ノ雇傭條件ヲ定メルトカ、
或ハ代理店ニ教科ノミマーク、云フアカーユ

○牧政府委員 現行法ニハ御承知ノ通り第十六條ニ「會社ノ資本ハ十万圓ヲ下ルコトヲ得ス」第二十八條ニ「相互會社ノ基金ハ十万圓

法律ニ最小限度トシテデモ、全金額ヲ出スコトハドウカト思ツテ、御尋シタノデアリマスケレドモ、大シタコトハアリマセヌカラ

是等ノ弊害ヲ除去スルコトハ、反面ニ於キ
マシテ保険事業ノ健全ナル發達ヲ圖ルコト
ニナルノデアツテ、此ノ十一條ハ斯様ナ不

或ハ保険外務員ノ雇用條件ヲ定メルトカ、
或ハ代理店手數料ヲ定メルト云フヤウナ場
合ガ、豫想セラレルノデアリマス、又損害

保険ニ一番適切ナ例ガ多イノ「アリマスガ、契約ノ引受條件デゴザイマストカ、代理店手數料、再保險ノ手數料ヲ決メルトカ云フヤウナコトガ、豫想セラレルノ「アリマス、法律ノ立法趣旨ト實例ニ付テハ、大體今ノ通りデゴザイマス」

○八木委員 損害保險ハ私共ノ所ニ來ルノハ、能ク割引ヲスルト言ツテマスガ、生命保險デモヤハリソンナコトガアリマスカ、此昔ヘアツタトカ云フ話デゴザイマスガ、此ノ節ハナイヤウニ聽イテ居リマス、例ヘバ斯ウ云フコトヲ生命保險會社ガヤツテ居ルト云フコトヲ聽イテ居ルノデス、外務員ガ千圓ナラ千圓持ヘルト、五圓ナラ五圓手數料ヲ貰フ、其ノ手數料ヲ三圓出シテ、二圓ニシテ契約ヲスルト云フヤウナコトガアル、ソレカラ損害保險デ——火災保險ナンカ一向知リマセヌガ——私ノ所ヘハ割引ヲスルト言ウテ來ラレルノデ、割引ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、協定ト云フノハ大體ハサウ云フコトデアリマスカ

○牧政府委員 先程申上ゲマシタ通りニ、御承知ノ通リ保険事業ハ一應數ニ基イタ合理的ナ保険料率ガアル譯デアリマスガ、競争ノ激シイ場合ハ、ソレヲ無視シタヤウナ懸引ヲスルコトガゴザイマス、サウ云フモアリマス、ソレニ「保險ノ種類及營業ノ範圍」ト云フコトガアリマスガ、私一向法律ガ分ラヌノデ、營業ノ範圍ト云フコトヲ一寸聞カセテ戴キタイト思ヒマス

○八木委員 第十三條ニ株式會社ノコトガアリマス、營業ノ範圍ト申シマスト、命保險デモヤハリソンナコトガアリマスカ、此ノ節ハナイヤウニ聽イテ居リマス、例ヘバスウ云フコトヲ生命保險會社ガヤツテ居ルト云フコトヲ聽イテ居ルノデス、外務員ガ千圓ナラ千圓持ヘルト、五圓ナラ五圓手數料ヲ貰フ、其ノ手數料ヲ三圓出シテ、二圓ニシテ契約ヲスルト云フヤウナコトガアル、ソレカラ損害保險デ——火災保險ナンカ一向知リマセヌガ——私ノ所ヘハ割引ヲスルト言ウテ來ラレルノデ、割引ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、協定ト云フノハ大體ハサウ云フコトデアリマスカ

○八木委員 地域ノ關係ト云フト、外國ニ手ヲ出ストカ出サヌトカ云フコトデアリマスカ、營業ノ範圍ト云フモノハ年齡ナンカニハ關係ノナイコト思ヒマス

○八木委員 損害保險デアリマスガ、内地ト滿洲國トカ、地域ノ關係デアリマス、ソレヲ營業ノ範圍ト云フ項目デ書クコトニナツテ居リマス

○八木委員 ソレハ今ハ規則トカ何トカデ、外ニ手ヲ出スコトハ出來ヌト云フコトニハナツテ居ラヌノデ、ハアリマセヌカ、生命保険ハナツテ居ルト思ヒマスガ、火災保險ハナツテ居リマセヌ、火災保險ガ支那ヤ外國ニ出タヤウニハ一向聞カナイノデス

○牧政府委員 是ハ組織變更ノ場合ノ規定デゴザイマシテ、株式會社カラ相互會社ニ組織變更スル場合ノ手續シマシテ、先づ第一ニ株式會社ハ株主總會ヲ開キマシテ、特別決議ヲ以テ組織變更スルコトヲ決議スル、又一面カラ言フト、其ノ會社ガ相互會社デアリマスカラ、其ノ關係カラ組織變更ニ思フノデスガ、一寸ソコガ分ラヌノデステアルノデゴザイマス、株式會社ト相互會

ノハ保險事業ノ經營ニ最毛弊害ガアル、サウ云フウ場合ノコトデアリマス

○八木委員 第十七條ニ付テ御聽キシタイ手約ヲ引受ケル年齡ノ範圍デアリマストカ、其ノ地域ノ關係等ヲ書クコトニナツテ居リマス

○八木委員 最近損害保險會社ニ其ノ例手ヲ出ストカ出サヌトカ云フコトデアリマスカ、營業ノ範圍ト云フモノハ年齡ナンカニハ關係ノナイコト思ヒマス

○八木委員 尚ホ一寸伺ヒマスガ、株式會社場合ガアルノデアリマス

○八木委員 二十四條デアリマスガ、「會社ハ組織變更ノ決議ニ於テ保険契約者總會ニ代ルベキ機關ニ關スル定ヲ爲スコトヲ得」是ハ保険相互會社デスカ、株式會社デスカ、一寸意味ガ分ラヌノデス

○八木委員 是ハ組織變更ノ場合ノ規定デゴザイマシテ、株式會社カラ相互會社ニ組織變更スル場合ノ手續シマシテ、先づ第一ニ株式會社ハ株主總會ヲ開キマシテ、特別決議ヲ以テ組織變更スルコトヲ決議スル、又一面カラ言フト、其ノ會社ガ相互會社ニナラヌヤウニシタコトニ書イテアツタヤウ然ルニ株式會社ガ相互會社ト合同シタ場合ニ於テハ株式會社デアツテ、相互會社ニハナラヌヤウニシタコトニ書イテアツタヤウ

○牧政府委員 百三十條ニ御尋ノ點ガ書イテアルノデゴザイマス、株式會社ト相互會

シテ居ル國ニ對シテ、多クノ會社デハ一般ニヤルヤウニ聞イテ居リマス、外地デモヤ

カラ、株主總會ニ加フルニ契約者總會ノ決議ガナクテハ、組織變更ガ出來ナイト云フツテ居リマス

シイコトニナツテ居リマス、唯先程カラノ
會社デアツテモ、株式會社デアツテモ、宜
御尋ノ點ハ、株式會社ヲ相互會社ニ變更ス
ル場合ノ規定デゴザイマス、合併デナク組
織ヲ變更スル場合ノ規定デアリマス

○八木委員 サウスルト組織ヲ變更スル場
合ニ於テハ、株式會社ハ、保險契約者總會
ト云フヤウナモノハ拵ヘテナイカラ、サウ
云フ場合ニハ新ニ拵ヘテ政府ノ認可デモ得
テ、ソレニサスト云フコトニナルノデスカ
○牧政府委員 株式會社ガ相互會社ニナル
場合ハ、株式會社ガ無クナルト云フ意味ニ
於キマシテ、株主ニ非常ナ關係ガゴザイマ
スカラ、是ハ株主總會ヲ開ク、所ガ出來上
ツタモノヲ見マスト相互會社デゴザイマス
カラ、契約者ガ其ノ會社ノ社員ニナリマス、
サウ云フ意味ニ於キマシテハ法律上重要ナ
變更ガアル譯デゴザイマスカラ、其ノ利害
ヲ其ノ相互會社ニナルト云フコトハ、契約
關係者タル契約者ノ總意ヲ以テ、組織ヲ變
更スルト云フ形ヲ取ツテ居リマス、デスカ
ニナル、ソレヲ契約者ノ總意ニ諸ツテ、謂
ハバ納得セシメテ組織ヲ變更シヨウト云フ
趣旨デ、サウ云フ總會ヲ開催シナクテハナ

○八木委員 ソレハ分ツテ居リマスガ、實際全國カラ契約者全部ヲ集メルト云フコトハ、書ケバ書ケルケレドモ出來ツコナイカラ、ソレニ代ルベキ機關ヲ定メルコトヲ得ト云フコトニナレバ、此ノ機關ハ誰ガ持ヘルノデスカ、而シテ其ノ時ニ合併シタイ爲ニ機關ヲ持ヘルノデスカ……

○牧政府委員 サウ云フ必要ラ生ジタ場合ニ、組織變更ノ決議ヲ致シマスガ、其ノ決議デ保険契約者總會ニ代ル機關、マア保險契約者總代會ト申シマスカ、サウ云フ機關ヲ設ケルト云フ規定ヲ定メルコトガ出來ルノデアリマス

○八木委員 其ノ規定ハ誰ガ持ヘルノデスカ、株主總會デ持ヘルノデスカ

○牧政府委員 株主總會デアリマス

○八木委員 一時サウ云フ風ナモノヲ持ヘルノデスカ

○牧政府委員 サウデス

○八木委員 第二十五條ニ「保險契約者總會ニ於テハ保險契約者ノ半數以上出席シ共ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲スト」ト、斯ウ書イテアリマス、是ハ書クノハ何ボデモ書ケマスガ、ヤルト云フコトヲ

仕途ガサスコトハ、實際出來ツコアリマセ
ヌ、入ツテ居ル契約者ハ唯保險金ヲ掛ケテ
樺太ノ端クレカラ九州ノ端クレマデ寄セテ、
サウシテ半數以上集メルト云フコトニナツ
タラ、何万人ト云フコトニナツテ、入レ
ル所ハアリマセヌ、ドウナルノデスカ
○牧政府委員 多數ノ契約者ガアリマシ
テ、ソレヲ招集スルコトハ困難デアリマス
カラ、サウ云フ場合ニハ所謂契約者總代會
ヲ設ケマス、其ノ總代會ニ付キマシテハ保
險契約者總會ニ關スル規定ヲ準用スルト云
フコトデ、第二十四條ノ第二項デゴザイマ
スカ、契約者總會ノ規定ヲ準用スルト云
コトニナツテ居リマスカラ、其ノ點ハ簡易
ニ行ケルノデヤナイカト思ヒマス
○八木委員 二十四條ノモノヲ拵ヘテ、ソ
レデ之ヲ準用スルト云フコトニナルノデス
ネ
○牧政府委員 左様デゴザイマス
○八木委員 第三章相互會社ノ第一節第三
十四條ノ「保險ノ種類及事業ノ範圍」ト云ヘ
バ、ヤハリ外國ノ保險トカ云フモノモ此ノ
事業ノ範圍デスカ
○牧政府委員 現行法ト同ジ意味デアリマ

○八木委員 剰餘金ノ分配ヲ受ケルト云フ
ト、基金ヲ返シテ貰フトカ、配當ヲ受ケル
ト云フコトハアリマスガ、サウ云フコトナ
ノデスカ、例へバ剩餘金ハ何ボ残ツテ居ツ
テ、其ノ残ツテ居ル中デ、何ボヲ利息ニ拂
フト云フコトガ規定ニ書イテアリマスガ、
其ノ利息ノ他ニ何カヤルト云フヤウナコト
ハ餘リナイヤウニ思ヒマスガ……

○牧政府委員 實例ハアルサウデゴザイマ
スシ、此ノ權利ノ中ニハ基金利息ニ關スル
權利ノ定メガアルヤウデアリマス、サウ云
フモノモ含ヌテ居リマス

○八木委員 基金利息ノ權利デスネ、ヨク
基金ガ済シング時分ニ十圓ヅツ出ストカ、百
圓ヅツ出スト云フコトガアルケレドモ、權利
ト云フモノハナイ筈デス、權利ト云フモ
ニハ儲カツタ時、約款ニ書イテアル時ノ
利息ノ權利ヨリ他ニナイト思ヒマスガサウ
見テ宜シウゴザイマスカ

○牧政府委員 其ノ他剩餘金ノ分配スルヤ
ウナ定メガアリマストソレニ對シテ請求權
ガアル譯デアリマスカラ……

○八木委員 サウ云フノガアリマスカ、何處ノ會社ニモ一體相互會社ニ基金ナンカ持ツテ居ルモノハーツモアリハシナイ

○牧政府委員 一社アルサウデアリマス

○八木委員 サウデスカ、何處デスカ——

マアソレハ宜イ、九ノ所デ會社ノ成立後ニ……

○田中委員長 一寸御諸リシマスガ、八木サンニツヅツ發言シテ下サラナイト、速記者ガ非常ニ困ツテ居ルヤウデス

○八木委員 ソレデハ委員長ト申シマス——

九ノ所デ「會社ノ成立後ニ譲受クルコトヲ約シタル財產アルトキハ其ノ財產、價格及譲渡人ノ氏名」トアル、是ガ一寸分ラヌノデスガ……

○牧政府委員 是ハ現行法ニナイ項目デゴザイマスガ、新商法ニ同様ナ規定ガアルノデアリマシテ、新商法ニ「左ノ事項ハ之ヲ定款ニ記載スルニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ」ト云フ百六十八條ノ規定ガアリマス、其ノ中ニ「會社ノ成立後ニ譲受クルコトヲ約シタル財產、其ノ價格及譲渡人ノ氏名」ト云フ項目ガゴザイマス、之ヲ承ケマシテ、相互會社ノ定款ヲ作ル場合ニモ其ノ記載事項ニ入レタ譯デアリマス、實際ノ場合トシマシテハ、會社設立後ニ現物ノ出資ヲ爲ス

○八木委員 其ノ現物出資ト云フヤウナモノガアリマスカネ

○牧政府委員 說明員ニ詳シク説明致サセマス

○山口說明員 御説明申上ゲマス、新商法ガサウ云フ規定ヲ設ケマシタ趣旨ハ、現物出資ヲ一應ヤラセナイト云フ前提ヲ執ツテ居リマス、之ニサウ云フ建前ヲ執ツテ居リマスカラ、現物出資ハ出來ナイ、ソコデ之ヲ潜ル方法トシマシテ、拂込ニハ現物デハ致シマセヌデ、唯拂込終了後一定ノ不動産ナラ不動産ヲ會社ガ其ノ人カラ買受クルト云フ契約ヲシテ居リマシテ、ソシテ現物出資ニ代ルヤウナ實體ヲ行使スルト云フコトガ起リ得ルモノデゴザイマスカラ、之ヲ防グト云フ意味デ商法ニ新シク此ノ規定ヲ設ケマシタ、ソレヲ同様ノ趣旨ヲ以チマシテ此方ニモ加ヘタノデアリマス

○八木委員 商法ノ規定ヲ御移シニナツタトガ、相互保險會社ニアリ得ルコトデセウカ、商法ニ規定ノアル色々ナ他ノ會社ニハ

アリ得ルコトハ、モウ目ニ見エテ居リマス

○牧政府委員 今御示ニナリマシタ三十八條ノ第一項デアリマスカ、是ハ現行法ノ三

ヤウナ約束ガゴザイマス場合ニ、其ノ價格等ヲ記載セシムルト云フコトヲ豫想シテ居リマス

○八木委員 其ノ現物出資ト云フヤウナモノガアリマスカネ

○牧政府委員 說明員ニ詳シク説明致サセマス

○山口說明員 三十六條デ「基金ノ拂込ハ金錢以外ノ財產ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ズ」ト是ハアリ得ルト考ヘマシテ一應禁止シテ居リマス、例ヘバ不動産ト云フヤウナモノヲ、今ノヤウナ場合ニソレヲ目的ニシマシテヤルコトガ、考ヘラレルノデアリマスカラ、制度トシマシテ一應商法ニ倣ヒマシタ、尙ホ申上ゲマスガ、株式組職ノ會社ニ於キマシテハ此ノ新シイ商法ノ規定ガ當然適用ヲ受ケル筈デアリマス、サウシマスト、ソレノ振合ヒトシマシテモ、相互組織ノ保險會社ニヤハリ制度トシマシテハ、ソレニ倣ツテ置ク方ガ整備シタル制度デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○八木委員 第三十八條ノ「發起人ニ非ザル者ガ社員タラントスルトキハ入社申込證二通ニ保險ノ目的及保險金額ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス但シ會社ノ成立後社員タラントスル者ハ此ノ限ニ在ラズ、入社申込證ハ發起人之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス」是ハドウ云フコトデアリマスカ、發起人ニ付キマシテハ株式會社ノ發起人ニ關スル規定ノ相互會社ニ現行法カラ準用シテ、發起人ハ七人以上タルコトヲ要ス

○牧政府委員 說明員カラ申上ゲマス

○吉岡說明員 私カラ一應御説明致シマスガ、發起人ニ付キマシテハ株式會社ノ發起人ニ關スル規定ノ相互會社ニ現行法カラ準用シテ、發起人ハ七人以上タルコトヲ要ス

○八木委員 商法ノ規定ヲ御移シニナツタト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ社員ニ付キマシテハ、相互會社ノ設立ニ付キマシテハ、百人以上ノ社員ガナソコデ七人以上ノ發起人ガ百人以上ノ社員

ヲ募集致シマスト、ソコデ初メテ相互會社ガ設立セラレル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレデ改正法デハ第三十八條ニ今ノ規定ノ第二項ノ第六號ニ「設立ノ際募集セントスル社員ノ數」ト云フコトガ書イテゴザイマス、ソレカラ第三十七條ニハ「相互會社ノ設立ニハ百人以上ノ社員アルコトヲ要ス」是ハ百人以上ノ社員ガ居リマセヌト相互會社ノ設立ガ出來ナイモノデアリマスカラ、其ノ設立ノ際ニケル社員ノ入社ノ申込ニ付テハ、特ニ入社申込證ト云フモノヲ設ケマシテ、恰モ是方株式會社ニ於ケル株式申込證ト同ジヤウナ意味ニ於テ、斯ウ云フ趣旨ノ規定ヲ設ケテ居ルノデゴザイマス

○八木委員 ソレデヤ是ハ社員デナクシテ假社員デスネ、身體モ見ナケレバナラヌシ約シテ契約者ハ初メテ社員タルコトニナリ得ルノデアリマス、然ルニ會社ガ出來テ居ラヌノニ、發起人ガ假ニ七人アリトシテ、百人ノ社員ヲ募ラウト云フコトハ出來ツコハデイ苦デアリマスガ、ソレヲ申込證ヲ持ツテ來テ社員タルコトヲ得ル云フコトニナツテ居リマスト、非常ニ矛盾スルコトガ起ルト思ヒマスガ、現行法ガサウデアレバ現行法

ガ矛盾デアリマスガ、此ノ矛盾ヲ龜用サレルト云フコトハオカシイデスガ、ソレハドウナノデスカ、社員デハナインヂヤアリマスカ

○吉岡説明員 例ヘバ生命保険ノ相互會社デアリマスト、其ノ社員タルガ爲ニハ、一定ノ健康狀態ヲ要スルト云フコトハ、會社ノ設立ノ際、或ハ設立後ト雖モ同様デゴザイマス、ソコデ此ノ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ社員タラントスル者ニ付キマシテ、必要ガアレバ身體検査ヲ致シマシテ、入社ノ申込ヲサセルコトニナルト考ヘマス、併シ會社ガ成立シナケレバ社員ト云フモノガナイト云フ點ハ、御説ノ通りデゴザイマスカラ、「社員タラントスルトキハ」ト云フコトニナツテ居リマシテ、實際社員ニナリマスノハ、會社ガ成立シタ時ニ社員ニナルト云フコトニナルト思ヒマス

○八木委員 サウスルト會社ノ出來ヌ申ニ社員ニシテ吳レト云フコトヲ求メルコトハ、法律ガ認メルト云フコトニナルノデアリマスカ、社員即チ契約者デアリマスガ、契約ヲ結ブニシテモ、會社ガ出來テ居ラナケレバナラヌノニ、唯社員タルコトノ申込ガ出来ルノデアリマシテ、此ノ社員ノ方ハ體モ診ナケレバナラヌ、色々ナコトモシナケレバナラヌノニ、唯社員タルコトノ申込證ヲ一通出シタラソレデ社員ニナレル、斯ウ云フコトハ生命保険デアレバ、餘程ヲカシイ話ニナリマス、コンナコトハ滅多ニナイデセウガ、ヒヨロ／＼ノ體デ、直キテ社員ノ申込ヲスル、之ヲ受ケルノモ變ニ死ヌヤウナ者ガ、會社ノ設立ノ際ニ社員

保険デモ何デモ、コンナ事ハ實際アルノデセウカ、ナクテモ萬々アリハセヌカト云

シマシテ設ケタモノデアリマス

ノデ書イテアルノデアリマセウカ

○牧政府委員 此ノ項目ハ現行法ト全然同ジデゴザイマスガ、株式會社ノ規定ニ準用

シマシテ設ケタモノデアリマス

○八木委員 ドウモ現行法ガ不都合デアル

ノデ、現行法ガ其ノ儘ト云フコトハ少シヲ

カシイト思ヒマス、ソレカラ第三十九條ノ

第一項デアリマスガ「創立總會ニ於テハ社

員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三

以上ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲ス」斯ウ云フコ

トガアルノデアリマスガ、是ハ實行上出來ルデセウカ

○牧政府委員 創立總會デゴザイマスカラ、

特別決議ノ形式ヲ採ツタ譯デアリマス、創

立ノ際ハ社員ガ少數デゴザイマスカラ、斯

ウ云フ規定デ差支ナカラウト考ヘマス

○八木委員 實ハ是ハ前例ヲ申上ゲルノデ

ス、私ガ持ヘタト言ウテハヲカシイヤウデ

スガ二十年前ニ三千人ノ發起人デ持ヘタ、

所デ其ノ日本全國ニ三千人ヲ持ヘタ半數以

上出席スルナント云フコトハ、逆モ出來ヤ

セヌ、サウ云フ推測モシテ法律ヲ御持ヘニ

ナツタノデセウカ、尤モ三千人ノ發起人ト

云フノハ、昔カラ恐ラク洋ノ東西ヲ問ハズ、

セウカ、ナクテモ萬々アリハセヌカト云

シマシテ設ケタモノデアリマス

○八木委員 ソレデハ午後ニ廻シテ戴イテ

無カツタデハアリマセウケレドモ、併シ是
ハ實例ガアツタノデアリマス

○牧政府委員 第三十九條ノ第三項ニ、商
法第一百三十九條第三項ヲ準用シテ居ルノ
デアリマス、是ハ代理人ニ依ル議決權ノ行
使ノ規定デゴザイマシテ、ソレニ依ツテヤ
ツテ居リマス

○八木委員 第四十條ノ四二「取締役ニシ
テ會社ヲ代表セザル者アルトキハ會社ヲ代
表スベキ者ノ氏名」、是ガ「寸分リマセヌ
ガ……」

○牧政府委員 新商法ノ第百八十八條デ
「取締役ニシテ會社ヲ代表セザル者アルトキ
ハ會社ヲ代表スベキ者ノ氏名」ト云フコト
ガ書イテアルノデアリマシテ、ソレヲコチ
ラニ移シタ譯デアリマス、現行法デハ「會社
ヲ代表スベキ取締役ヲ定ヌタルトキハ其ノ
氏名」ト、反對ノ方面ヲ書イテアリマスガ、全
然同ジ意味デアリマンテ、斯ウ云フ者ノア
ル場合ハ其ノ氏名ヲ書ケト云フコトデアリ
マス

○田中委員長 一寸八木サンニ御諸リシマ
スガ、モウ十二時デスガ、モウ暫クデ濟ミ
マスカ、若シ午後ニ瓦ルヤウデシタラ午後
ニ願ヒマス

○八木委員 第五十條デアリマス、「取締
役ハ社員總會ノ認許アルニ非ザレバ 同種
ノ保険ヲ目的トスル他ノ會社ノ取締役又ハ
監査役ト爲ルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトデ
テモ宜イト云フ御話デ、約十五分バカリト
云フコトデシタカラ、紅露君ニ諒解ヲ求メ
テ、アナタノ方ヲ先ニヤツテ戴クコトニシ
タノデスガ……」

○松田委員 大臣ニスベキ事項ト事務當局
ニスルモノトツアリマスノデ、午後大臣
ガ御出席ニナルナラバ、大臣ニ對スル分モ
用意シタト思ヒマスカラ、午後御出席ニ
ナルカドウカ、確メテ置キタイト思フノデ
ス

○田中委員長 實ハ商工大臣ノ方モ要求シ
テアリマスケレドモ、今貴族院ノ豫算關係
デ出席困難デアルヤウデス、午後ハ更ニ御
相談シヨウト思ツテ居リマスガ、兎ニ角大
臣ニ對スルモノモ御用意願ツテ置ケバ結構
ダト思ヒマス、ソレデハ是デ休憩致シマシ
テ、午後一時半カラ開會致シマス
午後零時四十分休憩

○牧政府委員 株式會社ハ株主總會ノ認許
ガナケレバ、取締役トナルコトハ出來ナイ
ト云フ商法ノ規定ガゴザイマシテ、同ジヤ
リマスカ

○八木委員 同種ノ保険ト云フノハ色々ア
リマセウガ、徵兵保險ト生命保險ト、斯ウ

モ結構デス

○松田委員 大臣ハ午後御出席ニナリマス
カ、午後引續キヤルトシマスレバ、保險國

役ハ社員總會ノ認許アルニ非ザレバ 同種
ノ保険ヲ目的トスル他ノ會社ノ取締役又ハ
監査役ト爲ルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトデ
アリマス、同種ノ目的ト云フノハ色々アリ
マスガ……」

○八木委員 第五十五條デアリマス、「取締
役ハ社員總會ノ認許アルニ非ザレバ 同種
ノ保険ヲ目的トスル他ノ會社ノ取締役又ハ
監査役ト爲ルコトヲ得ズ」斯ウ云フコトデ
アリマス、何レニシテモ株式會社ニシテモ、相
互會社ニシテモ、同種ノ保険ヲ目的トスル
他ノ會社ノ取締役又ハ監査役トナルコト
リマス、此ノ五十五條ニ依リマスレバ、サ
ウ云フ意味ハ取違ヒデアツタヤウニ考ヘマ
スガ、何レニシテモ株式會社ニシテモ、相
互會社ニシテモ、同種ノ保険ヲ目的トスル
他ノ會社ノ取締役又ハ監査役トナルコト
リマスカ

○田中委員長 午前ニ引續キ是ヨリ會議ヲ
リマセウガ、徵兵保險ト生命保險ト、斯ウ

開キマス——八木君

〔委員長退席、西川委員長代理著席〕

云フヤウナモノハ同種ト見ラレマスカ、ド
ウデスカ

○牧政府委員 ソレハ結局競争關係ニナル
カドウカト云フコトヲ主トシテ、制定スル
ト云フコトニナツテ居リマス、競争關係ニ
ナツテ居ル會社ノ取締ニナルニ付テハ、制
限ヲ設ケタイト云フ趣旨デアリマス

○八木委員 第四節、會社ノ計算、第六十三
條「會社ハ損失ノ填補ニ備フル爲每事業年度
ノ剩餘金中ヨリ準備金ヲ積立ツベキ
ス」前項ノ準備金ノ總額及毎年積立ツベキ
其ノ最低額ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム」是ハ法定
積立金ノコトヲ申スノデアリマスカ、法定
積立金以外ノコトヲ申スノデアリマスカ
○牧政府委員 株式會社デ申シマスト、法
定準備金ニ當リマス

○八木委員 相互保険會社デハドウナリマ
スカ

○牧政府委員 ヤハリ同ジ性質ヲ持ツテ居
リマシテ、法定準備金ニ當リマス

○八木委員 第八十六條ヲ承リマス「保險
會社ハ財産ノ評價換又ハ賣却ニ因リ計上シ
タル利益ガ之ニ因リ計上シタル損失ヲ超ユ
ルトキハ其ノ差額ヲ準備金トシテ積立ツル
コトヲ要ス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ
全部又ハ一部ヲ積立テザルコトヲ得」此ノコ

トデアリマスガ、此ノ點ニ向ツテ一ツ確メ
テ置キタイト思ヒマス、第一ニ株價ヲ其ノ
時ノ時價ニ調べマシテ、サウシテ帳面ヨリ
ハ損ニナル、ソレカラ得ニナル、之ヲ今マ
デ商工省ノ取扱ハ、商法ノ規定ニ依ルト、
株價が損シタ場合ニ於キマシテハ、剩餘金

即チ利益金ノ中カラ全部差引カナケレバナ
ラヌ、併シナガラ其ノ得ニナツタモノ、例
ヘバ今五十圓ノモノガ損失ガ百万圓、此ノ
百万圓ハ剩餘金カラ償ハナケレバナラヌ、
是ハ當然デアリマスガ、併シ又五十圓ノモ
ノガ百圓ニナツタト云フ所謂格上ガアル、
斯ウ云フ場合ニハスルセヌハ勝手デアリマ
スケレドモ、此ノ格上ト下格下トハ「プラス、
マイナス」シテ一遍ニヤレバソレデ宜シイ
シ、若シ格上ガ多クナルトカ、格下ガ多ク
ナルトカ言ヘバ、ソレヲ處置シテ然ルベキ
モノト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、併シ
今日マデノ當局者ハ左様ニナサラズニ、格
ノ都合ニ依ツテ六分ヲ見テヤルトカ、三分
ヲ見テヤルトカ、二分ヲ見テヤルトカ言ツ
テ、會社ハ其ノ格上ダケハ格上トシテ處置
シナイ、是ハ堅實デサウヤルノデアリマス
カラ、咎メル必要ハ無論ナイデアラウ、ソ
レハ當然至極ノコトデアルガ、ソレヨリ幾

分カ——二分三分見ルト云フコトモ、非常
ニ憐憫ノ沙汰デ見ルト云ツタ形ノ方針ヲ執
合ハ別ニ積ンデアル金ヲ其ノ損ノ埋合セニ
ツテ居ラレタヤウデアリマス、此ノ點ハ一
崩スト云フコトハ是ハ當然デアリマスガ、其

ツ能ク確メテ戴キタイト思フノデアリマス
○牧政府委員 有價證券ノ評價換ニ因リマ
シテ損ヲ生ジタル場合ハ、其ノ儘認メルガ
益ノ場合ハ色々ノ制限ヲ實際上加ヘテ居ツ
タノデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、
評價換ニ因ル損益ハ何レモ同ジヤウニ取扱
ヒタイト思ツテ居リマス、殊ニ損ヲ補フ程
度デ出ス評價益ハ、全額認メテモ差支ナイ
ト思ツテ居リマス

○八木委員 ソレハ會社トシテハ餘程結構
ナコトデハナイカト思ツテ居リマス、第八
十七條「前條ノ準備金ハ缺損ノ填補又ハ財
產ノ評價損若ハ賣却ニ因リ計上シタル損失
ガ之ニ因リ計上シタル利益ヲ超ユルトキ其
ノ差額ノ填補ニ充ツル場合ヲ除クノ外主務
大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ事ヲ使用ス
ルコトヲ得ズ」是ハ例ヘバ豫定ノ如ク準備
シテアルガ、其ノ次ノ決算ニ於テ評價益ガ
餘計出タト云フ場合ニハソレデ填補ヲサス、
然ラズンバソレハ勝手デアルガ其ノ外ハ主
務大臣ノ認可ヲ受クルニアラザレバ使用ス
ルコトガ出來ナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴ
ザイマスカ

○牧政府委員 評價損ガ評價益ヲ超ユル場
合ハ別ニ積ンデアル金ヲ其ノ損ノ埋合セニ
ツテ居ラレタヤウデアリマス、此ノ點ハ一
崩スト云フコトハ是ハ當然デアリマスガ、其
ノ他ノ場合ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、
サウシテ適當ト認ムル場合ニノミ許スコト

ガ出來ル、斯ウ云フ趣旨デアリマス
○八木委員 第八十九條ト九十九條ヲ一緒ニ
御伺シタイノデアリマスガ、第八十九條ト
第九十條ハ所謂保險計理人ヲ選任シテ保險
評價換ニ因ル損益ハ何レモ同ジヤウニ取扱
ヒタイト思ツテ居リマス、殊ニ損ヲ補フ程
度デ出ス評價益ハ、全額認メテモ差支ナイ
ト思ツテ居リマス

○八木委員 ソレハ會社トシテハ餘程結構
ナコトデハナイカト思ツテ居リマス、第八
十七條「前條ノ準備金ハ缺損ノ填補又ハ財
產ノ評價損若ハ賣却ニ因リ計上シタル損失
ガ之ニ因リ計上シタル利益ヲ超ユルトキ其
ノ差額ノ填補ニ充ツル場合ヲ除クノ外主務
大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ事ヲ使用ス
ルコトヲ得ズ」是ハ例ヘバ豫定ノ如ク準備
シテアルガ、其ノ次ノ決算ニ於テ評價益ガ
餘計出タト云フ場合ニハソレデ填補ヲサス、
然ラズンバソレハ勝手デアルガ其ノ外ハ主
務大臣ノ認可ヲ受クルニアラザレバ使用ス
ルコトガ出來ナイ、斯ウ解釋シテ宜シウゴ
ノ会社デモ置カヌ所ハナイ、一人置イテア
ル所モアリ、二人置イテアル所モアリ、三

ノ家ニ十年居ツタトカ、醫者ノ家ニ代診ヲシテ計理士ト言フノデアリマスカ、唯醫者リマス、其ノ醫者ニナルノニハ法定ノ試験ヲ受ケナケレバナラヌ、計理士ハサウ云フ試験ヲ受ケテ資格デ得ルヤウニ出來テ居ルノデアリマスカ、一寸伺ヒタイノデアリマスガ、現在デハ保険計理人ト云フモノノ資格ニ對シテ制限ガゴザイマセヌ、今回此ノ改正サレル法律ニ依リマシテ一定ノ資格ヲ有スル者ニ就キマシテ保険計理人ト云フ會社ガ置クコトヲ要スルト云フコトニシタイト云フ趣旨デゴザイマス

○八木委員 ソレデハマダ計理士ト云フモノハ現ニ規則法律ノ上ニ出來テ居ナイノデアリマスカ、終ヒニ出テ居リマスガ、三年ノ間ハ現在「アクトチュアリー」ト唯世間デ言ウテ人ト云フモノノ資格ノ法律トカ規則トカ云居ル者ヲ置ケト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウスルト三年ノ中ニ保険計理

○牧政府委員 此ノ資格ニ付キマシテハ、
八木サンモ御承知ノ通り現在保險會社ニ置
イテアリマス、「アクチュリー」ハ、色々ノ
程度ノ差ガアルダラウト思ヒマスカラ、八
十九條ノ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノデ
其ノ資格ヲ規定致シタイト思ツテ居リマ
ス、其ノ資格ハ先づ第一ニ學歴トソレカラ
實務經歷、サウ云フ一定ノ學歴、實務經歷
ト云フモノヲ定メマシテ、主務大臣ガソレ
ト同等ナ實力ヲ有スルト認メタ者ト云フヤ
ウナコトニシタイト思ツテ居リマス、併シ
計理人ヲ各社ニ置クト云フコトハ、中々因
難ナ場合ガアラウカト思ヒマシテ、其ノ資
格ヲ決メル勅令ニ付キマシテハ、相當實情
ニ即スルヤウニ緩和シタイトハ考ヘテ居リ
マス

ハ大抵一年ニ一回ノ決算デアリマス、其ノ
一年ニ一回ノ決算ニ於テ「アクチュアリー」
ノヤツタモノヲ監査役ガ監査ヲスルノデア
ルガ、其ノ間ニ半年目ノモノヲ拵ヘルト云
ツテモ、監査役ガ半年目ニ勝手ニスルコトハ
モ難儀デアリマスシ、又勝手ニスルコトハ
餘程困難デアラウト思フ、ソレガ間違ツタ
時ニハ責任ハ監査役ガ持タナケレバナラヌ
ト云フコトニナルト、是ハ由々シキ大事デ
アリマスガ、ソレハ何ノ必要ガアツテ二回
ニシナケレバナラヌカ、損害保険ハ成程半
年ニ一回ヅツノ決算デアル、之ヲ區別シテ
決算一回ナラバ一回出ス、二回ノモノダケ
ハ二回ニ出スト云フヤウニハ出來ナイモノ
デアリマセウカ

トニナルノデアリマスガ、保険ニ於キマシテハ營業年度ガ一年トナツテ居リマスノデ、半年ニ一回監査役ガ監査ヲ致シマシテ、其ノ書類ヲ作ツテ置クコトガ必要デアルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス〇八木委員 一年一回ノ決算ノ時ニモ監査ヲスル爲ニ非常ナ人手ト時間トヲ要スルノデ、是ハ餘程考ヘ物デハナイカト思ヒマスガ、此處ニ書イテアル意味ダケハ能ク分リマシタ、第九十九條ニ「主務大臣保險會社ノ業務又ハ財產ノ状況ニ依リ會社ヲシテ合併、業務及財產ノ管理ノ委託又ハ契約ノ移轉ヲ爲サシムルコトヲ適當ト認ムルトキハ會社ニ對シ之ヲ勸告スルコトヲ得」トアリマシテ、此ノコト自體ハ結構デアルト思ヒマズガ、腹藏ナク申シマスト、勸告ヲ致スト云フコトガ、他ニ知レナケレバ兎ニ角デアリマスガ、大抵ハ知レルノデアリマス、知レルト他ノ會社ノ者ガ解約ヲ勸メテ、自分ノ方ニ取ルト云フコトガ一齊ニ起ルノデアリマス、ダカラオ前ノ方ハドウモ少シヲカシイカラ、シツカリシテモツト正シク真面目ニヤラナケレバイカヌゾト云ブダケノ勸告ナラバ、是ハ要ラヌコトデアル、若シ勸告シタ時ニ、承知致シマシタ確ニヤリマスト、會社ガ請書ヲ出セバ格別デスガ、若シ

然ラズシテ私共ハ其ノ勧告ヲ御断リ申上ゲマスト言フカ、或ハ何モ言ハナイデ、打ツデヤラカシテ置ク者ガアツタナラバ、直ニ此ノ第二項ノ方ニ掛カルト云フ意味ノ勧告デナケレバ、唯口ダケノ勧告デハ一向役ニ立タヌノミナラズ、寧ロ其ノ勧告ノ爲ニ契約ノ破壊ヲ來シテ、契約者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ風ニ、吾々ハ信ズルノデアリマスガ、此ノ勧告ノ意味ハ如何デアリマスカ、政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○牧政府委員 勸告ノ意味ニ付キマシテハ、

昨日申上ゲマシタガ、其ノ趣旨ヲ申上ゲマ

スルト、御承知ノ通り保険會社ノ經營ハ數

理ガ主トナツテ居リマスカラ、一定ノ傾向

ガ或ル期間ニハ現ハレテ來ルヤウニ考ヘマ

ス、隨テ不幸ニシテ前途ノ見透シガ餘り宜

クナイヤウナモノニ付キマシテハ、早目ニ

合併ヲ致シマストカ、移轉ヲスルコトガ禍

ヲ未然ニ防グコトニナル、ソレハ隨テ製約

者ナリ、會社其ノモノニ取リマシテモ、宜

イコトデアルト云フヤウナ趣旨カラ、勧告

ノ制度ヲ設ケタ譯ナノデアリマス、從來カ

ラモ八木サン御承知ノ通り色々云フ意

味ノ御話ヲシタコトハアルノデゴザイマス、

併シ今回ハ之ニ依リマシテ其ノ手續ヲ一層

慎重ニ致シタイ、早イ話ガ此ノ規定ノナカ

マスト言フカ、或ハ何モ言ハナイデ、打ツデヤラカシテ置ク者ガアツタナラバ、直ニ此ノ第二項ノ方ニ掛カルト云フ意味ノ勧告

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ニクイヤウナ場合、或ハ株主等ノ諒解ヲ得

ルコトハ困難デアルヤウナ場合ニ、監督官

廳ハソレヲ見マシテ、「キツカケ」ヲ造ルト

云フ意味デ御勧メスルヤウニシタラドウカ

ト云フノガ趣旨デゴザイマス

（西川委員長代理退席、委員長著席）

仰セノヤウニ之ヲ他ニ知レルヤウナコトニ

シテヤラセマスコトハ、最モ恐ルベキ結果

ヲ生ズルモノダト云フコトハ十分承知シテ

ハ今回ノ第百條ニ入ツテ居ル譯デアリマス、

尙ホ從來ノ規定ノ不備ヲ補足スル意味ニ於

キマシテ、第九條ノ監督命令ニ付テ相當ノ

考慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス

○八木委員 第百三條ニ「管理ノ命令アリ

タルトキハ管理ヲ受クル會社ノ事業ハ之ヲ

停止ス、但シ主務大臣必要アリト認ムルト

キハ其ノ全部又ハ一部ヲ停止セザルモノト

爲スコトヲ得」トアリマス、「停止ス」ハ能

ク分リマシタガ「必要アリト認ムルトキハ

ツタ時ニモ色々ナ都合カラ、斯ウ云フヤウ

ニシタラドウカト云フ話ヲシタコトモアリ

マスガ、今回之ヲ法文ニ致シマス以上ハ、

其ノ取扱等モ相當慎重ニ致サナケレバナラ

スト考ヘルノデアリマス、其ノ慎重ニト云

フコトハ、寧ロ其ノ保險當局監督者ニ對ス

ル戒メト申シマスカ、制限ニナルカノヤウ

ニ考ヘマス、サウ云フ意味モゴザイマスシ、

又保險ノ經營者ト致シマシテモ、ドウシテ

モイケナイト云フ見透シノ付ク場合ニハ、

自分ガヤツテ居ル關係上サウ早ク投出ス譯

ニハ行カナイ責任上、サウ云フコトモ言ヒ

ト云フヤウナコトハ止メルニシマシテモ、再保險ノ契約ヲ爲スト云フヤウナ事業ハ繼續シテモ宜カラウ、ソレハ其ノ會社ノ整理ヲスル上ニモ有利デゴザイマシ、同一系統ノモノガサウ云フ援助ヲスルト云フヤウナ場合ハ、特ニ之ヲ許シテモ差支ナカラウト云フ趣旨デアリマス

○八木委員 第百四條ニ「株主ノ名義書換

ノ禁止ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フコトガ書イテアルノデアリマス、此ノ整理ヲシテ居主ノ名義書換ノ禁止ヲ爲スコトヲ得ト云フ

ヨリハ、禁止ヲシナケレバ、狡イ奴ハ、此ノ會社ハ大分危イ、エライ目ニ遭フカモ知レスカラ早ク賣ツテシマヘト云フノデ、逃出ス

ト云フヤウナコトニナルカラ、サウ云フコトニ關シテハ株主ノ名義書換ハ停止スルト云フコトガ本當デアツテ、停止シナケレバ隨分エライ目ニ遭フ人ガアリハシナイカ、何故ニ之ヲスルコトヲ得ト云フコトデ、禁

止スト云フコトニナラヌノデアリマセウカ○牧政委員 改正商法ニ於キマシテ、三百八十六條ニ「整理開始ノ命令アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ裁判所ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得」トゴザイマシテ、株主ノ名義書換ノ禁止ヲ爲スコトヲ得ト云

フ規定ガアルノデアリマス、其ノ意味ハ必要ナ場合ニ會社ハ株主ノ名義書換ヲ停止サヘスレバ宜イノデアツテ、當然整理ノ開始ガアレバ株主ノ名義書換ヲ禁止スルマデノ必要ハナイノデハナカラウカト云フ趣旨デアリマシテ、之ヲ同様ナ場合ニ於ケル保険業法ニ入レタノデアリマス

○八木委員 第百二十七條ニ「保險會社ハ其

ノ營業ノ讓渡ヲ爲スコトヲ得ズ」ト書イテアドウ云フコトナンデアリマスカ、私一向合點ガ行カヌノデアリマス

○牧政委員 御承知ノ通リ保險會社ニ於キマシテハ、契約ノ包括移轉ト云フ制度ガ

ゴザイマス、是ハ殆ド他ノ事業ニハナイノデアリマシテ、保險業ニ獨特ノ制度デゴザ

イマス、此ノ制度ガゴザイマスレバ、保險會社ニ於キマシテ保有契約ト離レテ營業讓渡ヲ考ヘルコトハ、マア出來マセヌ譯デア

リマス、サウシテ營業讓渡ノ規定ニ依ツテ保險契約上ノ權利義務ヲ移轉スル、所謂商

法ノ營業讓渡ノ規定ニ依リマシテ、保險契約上ノ權利義務ヲ移轉スルト云フヤウナ會

社ハ、個々ノ數万ノ契約者ニ對シテ其ノ手續ヲセネバナラヌノデアリマス、而モ保險

業者ニハ一方是ト同一ノ效果ヲ收メラル

ベキ契約ノ移轉ノ手續ヲ執レバ、ソレヨリ

簡單ナ方法デ同様ノ目的ヲ達スルコトガ出来ルト云フ譯デゴザイマス、隨ヒマシテ保

險會社ノ營業讓渡ト云フコトハ、殆ド行ハレタコトガナインデアリマス、又今申上げ

マシタ通リニ、全部ノ保險契約者ニ手續ヲシナクテハナラヌト云フヤウナ關係上、殆

ド商法ノ營業讓渡ハ實行ガ不可能デアルト云フヤウニ言ハレテ居ルノデアリマス、今

マデ其ノ實行不可能ト言ハレル營業讓渡ガ、

法律ノ解釋トシテハ出來ルヤウナ形ニナツテ居ツタノデアリマス、ソレデ實質的ニハ

其ノ必要モナシ、又事實上サウ云フモノモナイノデアリマスガ、今回之ヲ法律ニハツ

キリサセタト云フノニ過ギナインデアリマス

シテ、從來トチツトモ變リハゴザイマセヌ

○八木委員 サウスルトは殆ド有名無實ノモノデアルト云フコトデ分リマシタ、ソ

ハ、相互會社デアツテモ宜イシ、株式會社デレカラ第百三十條デアリマスガ「相互會社

ハ他ノ保險會社ト合併ヲ爲スコトヲ得」前

項ノ場合ニ於テハ合併後存續スル會社又ハ

合併ニ因リテ設立スル會社ハ相互會社ナル

コトヲ要ス但シ合併ヲ爲ス會社ノ一方ガ株

マスガ、相互會社ト相互會社トガ合併スル、若クハソレヲ解體シテシマツテ一ツノ新ナ

ルモノヲ持ヘルト云フ時ハ、相互會社デナ

ケレバナラヌト云フコトハ能ク分リマス、

式會社デアル時ハ、合併後存續スル會社若ク

モ相互會社タリ得ルト云フコトデアルニ相

ハ合併ニ依ツテ設立スル會社ハ、株式會社

ナルコトヲ得ト書イテアツテ、株式會社デ

シナクテハナラヌト云フヤウナ關係上、殆

トカ何トカニ依ツテ、ドチラニデモナレル

ヲ御示ニナル譯デアリマスカ、契約者全體

モ相互會社タリ得ルト云フコトデアルニ相

違ナインデアリマスガ、法律ハ一體ドチラ

シテ居ツタノデアリマスガ、法律ハ一體ドチラ

ト云フ意味デアリマスカ、是ハ餘程將來ニ

關係ガアルコトデアリマスカラ、御伺致シマス

○牧政委員 御尋ノ通リニ、相互會社ト

株式會社トガ合併シマシテ出來上ルモノハ、相互會社デアツテモ宜イシ、株式會社デ

アツテモ宜シイ譯デアリマス

○八木委員 第百三十二條ノ二項デスガ「主

務大臣ハ監査役又ハ三月前ヨリ引續キ資本ノ十分ノ一以上ニ當ル株式ヲ有スル株主若

ハ十分ノ一以上ノ社員ノ請求ニ依リ清算人ヲ解任スルコトヲ得但シ此ノ請求ヲ爲ス

社員ニ付定款ヲ以テ他ノ標準ヲ定ムルコトヲ得」之ニ付テ私ハ一寸意味ガ分ラヌノデ

アリマスガ、愈解散シテ清算スル時ニハ

斯ウスル「但シ此ノ請求ヲ爲ス社員ニ

付定款ヲ以テ他ノ標準ヲ定ムルコトヲ得」下

云フノハ、是ハドウ云フコトヲ考ヘタノデ

アリマスカ

○牧政府委員 此ノ初ノ方ハ此ノ文字ノ示

ス通リニ、主務大臣ガ監査役又ハ資本ノ十

分ノ一以上ニ當ル株主又ハ十分ノ一以上ノ

社員——是ハ相互會社デゴザイマスガ、十

分ノ一以上ノ社員ノ請求ニ依リマシテ、主

務大臣ガ清算人ヲ解任スルコトガ出來ルト

云フ規定デアリマス、今申上ゲマシタ十分

ノ一以上ト云フ標準ガ一應アルノデアリマ

スガ、定款デモウ少シ此ノ標準ヲ辛クシヨ

ウトカ、或ハ輕クシヨウト云フヤウナコト

ヲ定メテモ宜シイ、例へバ五分ノ一以上ノ

株主ノ請求ガナクテハ清算人ノ解任ヲ請求

スルコトガ出來ナイト云フヤウナ、標準ヲ

設ケテモ宜シイ譯デアリマス

○八木委員 能ク分リマシタ、第百四十條

デアリマスガ、第百四十條ニ「五年以下ノ懲

役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス」斯ウ云フ風

ニハツキリ載ツテアルガ、第百四十一條ニ

ハ「前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス」ト、斯ウ書イ

テアツテ、如何ナル程度ニ罰スルカト云フ

コトハ何ニモ書イテナイ、唯罰スト書イテ

アルダケデアルガ、是ハ如何デスカ、一寸

御伺ヒ致シマス

○牧政府委員 是ハ罰則全體ハ今回ノ改正

商法ノ規定ト釣合上、斯ウ云フ風ニ改メタ

ノデアリマシテ、此ノ規定ガ商法ノ四百八

十八條ニ釣合ヲ取ツテ居ル譯デゴザイマスガ、

本法ノ百四十條ノ未遂罪ハ之ヲ罰スルト云

フ趣旨デゴザイマスガ、其ノ罰ノ程度ハ刑

法ノ總則ニ依ツテ一定ノ定メガアル譯デア

リマス

○八木委員 私ノ質問ハ大體ソソンナコトデ

アリマスガ、前ニ紅露君ノ言ハレタコトデ

アリマシテ、私モアレト同感デアリマスガ、

其ノ會社ガ爲シタ決算ノ狀態ガ確實デアル

カ否ヤト云フコトヲ、ソコノ會社ノ計理人

ヲ招ンデ調べル、而シテ其ノ計理人ガ下手

ニ嘘ヲ吐イタナラバ處罰ヲスル、斯ウ云フ

コトハ何トモ吾々素人ニハ胸ニ落チマセヌ

ガ、月給ハ會社デ貰ツテ居ル、其ノ會社ハ

斯ウ云フ決算ヲスル方ガ穩カデ宜イ、是ハ

「アクチュアリー」ガ御調ベニナツタ上デス

ウ云フコトハ「アクチュアリー」トシテモ、

認メラレルデハナイカト言ツタ時ニ、ヤハ

リ「アクチュアリー」ハ認タヨウト思フ、併

シ其ノ時ニ政府ガ會社ノ「アクチュアリー」

ヲ招ンデ、計理人ドウダ、オ前ハ重役ニ無

理ニ押サレテ言ツタンヂヤナイカ、言ヘト

云フノデ、少々斯ウ云フコトダケハ無理ニ

サレマシタト言ヘバ罰金ニ處スル、サウシ

テ其ノ結果無理デアリマセヌデシタト云フ

コトニナツテ、サウシテ無理ヲ主張スル

時ニハ刑罰ニ付セラレルシ、刑罰ニ付セ

ラレナケレバ免職ニ遭フト云フコトハ、今

日ノ時節柄餘程考ヘナケレバナラヌデヤナ

イカト思フノデアリマス、醫者ハ個人デア

リマスガ、死ヌカ死ナスカト云フ時ニ、本

人ニハ大丈夫癒ルカラト言ツテ置イテ、親

類ヤ側ノ者ニハ、ドウモ難シイト言フ、是

ハ或ル意味カラ言ツタラ當然デヤナイカト

思フ、決シテ偽瞞トカ、嘘ヲ言ツタトカ、

眞理學問ヲ、躊躇ツタトカト云フヤウナコト

ハ少シモナイト思フ、而シテ一面ニ於テ政

府ガ保険會社ニ「アクチュアリー」ヨリ、モ

ウ少シ詳シイ者ヲ派遣シテ、サウシテ會社

ヲ調ベルト云フコトハ、現在「ノベツ」ニヤツ

テ居ル、人ガ足ラヌト云ウテ餘リ爲サラヌ

時モアツタヤウデアリマスケレドモ、此ノ

ヤツテ居ルト云フコトガ、他ノ會社モ左程

ニハツキリ載ツテアルガ、第百四十一條ニ

ハ「前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス」ト、斯ウ書イ

テアツテ、如何ナル程度ニ罰スルカト云フ

コトハ何ニモ書イテナイ、唯罰スト書イテ

サウ云フ權能ヲ御持チニナツテ居ルノデア

リマス、「アクチュアリー」ハ無論政府デ御

抱ヘニナル立派ナ計理士デアリマスカラ、

ソレヲ御使ヒニナツテ會社ノ計理士ニ質問

ヲシテ、サウシテ缺點等ガアレバソレヲ質

問シテ、イケナケレバ罰金ヲ取ルト云フコ

トハ、ドウモ法律トハ申シナガラ實際行ハ

レヌヤウナ氣ガスルノデアリマス、尤モ一

昨日デシタカ司法省ノ刑事局長ハ、ソレハ

事實ヲ審査シタ上デヤルノデ、ソンナニ直

グニ罰スル譯デハナイ、餘程ヨクノ事

デ、自分ノ利益ヲ圖ルトカ、ナントカ云フ

コトデナケレバ罰シナイト云フコトデアリ

マシタガ、自分ノ利益ヲ圖ラナクテモ會社

ノ利益ノ爲トカ、取締役ノ言フコトヲ聞イ

テ自分ノ信ズルコトヲ曲ゲタト云フコトニナ

コトスレバ甚ダ時勢ニ副ハヌヤウニ思フノデ

アリマスガ、此ノ點ニ向ツテハ此ノ簡條ニ

出テ居ルノハドウシタコトデアリマセウカ、

一應紅露君ニモ御答ニナツタヤウデアリマ

スガ、念ノ爲ニ私ハ重ネテ御伺致シタイト

ノガ中々細カイト云フコトモアリマスガ、

カト云フ御尋デゴザイマスガ、刑事局長カ

又ヤラレタ會社モ毎年才決リデ御調ベニナ

ルカラ調ベラレルノダ、尤モ御調ベニナル

付キマシテ、罰則ガアルノハ苛酷デハナイ

ラ詳シク御答辯ガアツタノデアリマシテ、速記録ヲ御覽願ヒタイト思ヒマス、少シ難シイ理論ガゴザイマスノデ、私共カラ申上ゲルト云フコトハ不正確ニナリマスカ

○八木委員 私ハ速記録ヨリモ、直カニ承

リタインデスガ、併シソレハ其ノ通りデアルカラ認ヌルト云フコトナラ、ソレ以上聞カヌコトニ致シマスガ、如何ニシテモ是デハ面白クナイ、ソレデ終リニ私申上ゲテ置キタイノハ、此ノ法案ヲ改正ニナルノニ、前ニ委員會ヲ御作リニナツタヤウデアリマス、其ノ委員會ノ「メンバー」ハ皆歴々ノ學者ダトカ、或ハソレドノ職ニ當ル者ガ入ツテ居ラツシヤル、決シテソレガ不當トハ申シマセヌガ、併シナガラ其ノ中ニ世間デ能ク「デマ」ガ飛ンデ商工省デハ八會社ニスルトカ、七會社ニスルトカ云ツテ、他ハ皆壊シテシマツテ一緒ニスルトカト云フヤウナ、アルベカラザル想像ヲ觸レ廻ルト云フノハ、此ノ委員ノ中ニ保險會社ニ實際携ツテ居ラツシヤル方ハ、世ニ所謂大會社關係ノ人ガ一人カ三人御入りニナツテ居ルガ、午前ニ申シマシタ極ク立派ナ小會社ノ人ハ、一人モ入ツテ居ナイ、而シテ其ノ大會社ガサウダトハ申シマセヌガ、小會社ヲイ

デヌテ契約ヲ取ラウトカ、又ハ大會社中ニ於テ一番ニナラウト云フ、亞米利加アタリ

デ流行ツタ競争ノ結果デアルカ知リマセヌガ、少クトモ他ノ會社ノ契約ヲ解約サセテ、

出放題ナコトヲ言ツテ自分ノ方ニ取ルト云フコトハ、小會社ガ始メタカ、大會社ガ始メタカト言ヘバ、大會社ガ始メテ居ルコトダケハ事實デス、ソレヲ大會社ダケノ人ヲ入レテ、サウシテ委員會ヲ御組織ニナツタト云フコトハ、私ハ甚ダ當ヲ缺イテ居ルト思フノデアリマス、是ハ出來タコトハ仕方ガナイガ、其ノ時ノ委員會ニ於テ、何カ審査會ヲ持ヘロト云フコトガ附帶ニアツタヤウデアリマス、無論ソンナ時ニ一々審査會ヲ開クコトハ御困リデアリマセウケレドモ、其ノ附帶決議ハ除外シテ、審査委員會ハ満場一致デ此ノ法案ヲ可決シタト仰セラレルヤウデアリマスガ、アノ附帶事項ニ付テハ如何ニナツタノデアリマセウカ、之ヲ承り

ニ付キマシテ色々審議ヲ致シマシタ場合ニ、保險事業ハ信用ヲ基礎トスル、苟モ信リタインデスガ、併シソレハ其ノ通リデアルカラ認ヌルト云フコトナラ、ソレ以上聞カヌコトニ致シマスガ、如何ニシテモ是デハ面白クナイ、ソレデ終リニ私申上ゲテ置キタイノハ、此ノ法案ヲ改正ニナルノニ、前ニ委員會ヲ御作リニナツタヤウデアリマス、其ノ委員會ノ「メンバー」ハ皆歴々ノ學者ダトカ、或ハソレドノ職ニ當ル者ガ入ツテ居ラツシヤル、決シテソレガ不當トハ申シマセヌガ、併シナガラ其ノ中ニ世間デ能ク「デマ」ガ飛ンデ商工省デハ八會社ニスルトカ、七會社ニスルトカ云ツテ、他ハ皆壊シテシマツテ一緒ニスルトカト云フヤウナ、アルベカラザル想像ヲ觸レ廻ルト云フノハ、此ノ委員ノ中ニ保險會社ニ實際携ツテ居ラツシヤル方ハ、世ニ所謂大會社關係ノ人ガ一人カ三人御入りニナツテ居ルガ、午前ニ申シマシタ極ク立派ナ小會社ノ人ハ、一人モ入ツテ居ナイ、而シテ其ノ大會社ガサウダトハ申シマセヌガ、小會社ヲイ

ニ付キマシテ色々審議ヲ致シマシタ場合ニ、保險事業ハ信用ヲ基礎トスル、苟モ信

リタインデスガ、併シソレハ其ノ通リデアルカラ認ヌルト云フコトナラ、ソレ以上聞カヌコトニ致シマスガ、如何ニシテモ是デハ面白クナイガ、兎ニ角諸問機關ヲ造ルコトヲ具體的ニ決議スル、之ニ依ツテ政府ハ諸問機關ヲ設ケテ運用ノ適正ヲ圖ルヤウニシロト云

ニ付キマシテ、ソレデハ法律ニ依ル必要ハナシタ通リニ、株主總會ノ決議ヲ要スル、

○牧政府委員 株式會社ヲ相互會社ニ變更

スル場合ハ、先程八木サンノ御尋ノゴザイマシタ通リニ、株主總會ノ決議ヲ要スル、

諸問機關等ノ議ヲ經テ施行シタラドウカ、サウ云フコトニ依ツテ此ノ運用ノ適正ヲ期スルコトガ適當デハナイカト云フ御意見ガゾザイマシテ、ソレデハ法律ニ依ル必要ハナイガ、兎ニ角諸問機關ヲ造ルコトヲ具體的ニ決議スル、之ニ依ツテ政府ハ諸問機關ヲ設ケテ運用ノ適正ヲ圖ルヤウニシロト云フ希望ガ附イテ居ルノデアリマス、隨テアレハ法律ニ規定スル意味ノ諸問機關デハナノデアリマス、ソレハ業界カラノ希望モゴザイマシテ、入レタノデゴザイマスガ、諸問機關ヲ是非置イテ、其ノ法ノ運用ノ適

正ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、適當ナ

用ニ關スル問題ガ世間ニ知レルヤウナコトヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○八木委員 他ノ委員ノ方カラ、私ノ質問ニナツテハ重大ナル結果ヲ來スカラ、其ノ當時法律ニ定ムル委員會デ色々ナ法律上ノ重要ナル處置ヲ爲ス場合ニ、其ノ委員會ニ

ノ序ニ質問シテ吳レト言ハレタ事ガアリ

マスカラ、ソレヲ質問スルコトヲ御許シ

ニ付キマシテ色々審議ヲ致シマシタ場合ニ、保險事業ハ信用ヲ基礎トスル、苟モ信

リタインデスガ、併シソレハ其ノ通リデアルカラ認ヌルト云フコトナラ、ソレ以上聞カヌコトニ致シマスガ、如何ニシテモ是デハ面白クナイガ、兎ニ角諸問機關ヲ造ルコトヲ設ケテ運用ノ適正ヲ圖ルヤウニシロト云フ希望ガ附イテ居ルノデアリマス、隨テアレハ法律ニ規定スル意味ノ諸問機關デハナノデアリマス、ソレハ業界カラノ希望モゴザイマシテ、入レタノデゴザイマスガ、諸問機關ヲ是非置イテ、其ノ法ノ運用ノ適

正ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、適當ナ

ナツテ居リマス、隨テ株主ノ謂ハバ總意ニ
依リマシテ、今御尋ノヤウナコトヲ決ヌル
譯デゴザイマス、其ノ決ヌタモノガ認可サ
レルヤ否ヤ、認可ト云フコトニハナツテ居
リマスガ、株主總會ニ依ツテ決定スルト云
フコトニナツテ居ルノデアリマス

○八木委員 第二ノ問ハ、募集員ノ監督方
法トシテ他社ノ惡口ヲ以テ勸誘スル者ノ取
締、募集員ノ人格養成向上ノ方法、斯ウ云
フコトニ向ツテ政府ハ御考ニナツテ居ルヤ
否ヤ、斯ウ云フ御尋デアリマス

○牧政府委員 外務員ノ募集ニ付キマシテ
ハ度々申上ゲマシタガ、此ノ取締ヲ嚴重ニシ
タイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、サウシテ
其ノ方法ニ付キマンシテハ目下研究中デハゴ
ザイマスガ、現ニゴザイマス御承知ノ募集
取締規則ノ厲行ニ努メルト云フコトニシタ
イト思ツテ居リマス、又此ノ法案ガ通過致
シマシタ際ニハ、募集上ノ弊害ニシテ所謂
統制協定ニ依ツテ矯正シ得ルモノガアレ
バ、之ヲ會社關係者ニ勸奨スル、場合ニ依
ツテハ強ク御勸メ致シマシテ、サウシテサ
ウ云フ協定ヲ作ラシメル、ソレニ依ツテ勸
誘員ノ募集上ノ弊害ヲ排除シタイト云フコ
トヲ痛感シテ居ルモノデアリマス

○八木委員 第三ハ弱小會社ノ補強方法、

斯ウ云フ間ナノデゴザイマスガ、之ニ對シ
テ御答ヲ願ツテ置キタイ

○牧政府委員 今御答スル時ニ御答シ洩シ
タノデアリマスガ、募集員ノ人格養成ノ方
法デゴザイマスガ、其ノ必要ハ十分アルト
考ヘテ居リマスガ、御耳ニ入レルダケノ案
モ持合セマセヌ、弱小會社ノ補強ノ方法ニ
付キマシテハ、今回ノ監督ノ規定ヲ整備充
實スルコトニナリマスレバ、其ノ運用ニ依
リマシテ今マデヨリモ其ノ弱小會社、所謂
弱小會社デアリマシテ、當局デサウ云フ言
葉ヲ使ツテ居リマセヌガ、所謂業績ノ舉ガ
ラナイモノヲ舉ゲシムル爲ニ、必要トスル
事項ハ、從來ト雖モ監督當局ニハ分ツテ居
ル譯デアリマス、ソレ等ノ點ヲ指摘致シマ
シテ、飽クマデ指道的ナ精神ヲ以テヤル
譯デアリマスガ、ソレ等ノ點ヲ指摘致シマ
シテ其ノ監督ニ努メル、其ノ結果ハ業績ノ
向上ニ資セシムルコトガ出来ルト考ヘテ居
ル次第デアリマス、尙ホ此ノ業績ガ不良ニ
ナル原因ニ付キマシテ、先程カラノ御尋ニ
モゴザイマシタト思ヒマスガ、ヤハリソレ
ノミデハイケナイ場合ガアルノデアリマス、
結局競争カラ來ル弊害ニ因ツテ、謂ハバ競
争ニ負ケタガ爲ニ業績ヲ惡クスル場合モア
ラウカト思ヒマス、ソレ等ノ競爭ノ弊ヲ冒

正スルト云フ方法ヲ講ジマシテ、兩様ノ方
面カラ業績ノ向上ヲ圖リタイト考ヘテ居リ
マス

○八木委員 大體私ノ質問ノ、商工省ニ對ス
ルモノハ濟ンダノデアリマスガ、今政府委
員ガ御答ニナツタコトハ明瞭ナコトデ、保
險會社ハ喜ブト思ヒマスガ、ドウカ契約者ノ
利害ニ付テモ御考慮ヲ願ヒマス、サウシテ
弱イ會社モ育ツヤウニ、強イ會社ハ小サイ
モノト協調シテ行クヤウニ願ヒタインデア
リマス、厚生省ノ政府委員ハ居ラツシヤイ
マスカ

○田中委員長 今保險院長官ガ丁度本會議
ニ出テ居テ、ソレガ濟ミ次第コチラヘ來ル
ト言ツテ居リマス、商工大臣モ今貴族院ノ
豫算總會ノ討論ガ慥カ濟ムラシイカラ、濟
ミ次第ニコチラヘ來ルト云フコトニナツテ
居リマスカラ、若シ大體ニ於テ商工當局ニ
對スル御質問ガ濟ンダナラバ、アトハ暫ク
保留シテ戴キタイト思ヒマス

○八木委員 ソレデハ保留致シテ置キマス
ノ質問ニ對シテ御答ガアツタコトニ關シテ、
「バランス」ガ惡クナルカラ、資產ノ運用ニ
其ノ爲ニ經費モ餘計ニ掛ル、營業ノ收支ノ
不當競争ヲヤツテ、新契約ヲ獲得シヨウ、
當ツテモ收益ノ多イモノニ、即チ危險ヲ冒
シテモ利廻ノ好イモノニ資產ヲ運用シテ、

如何ニ依ツテハ、色々ナ勸告ガ出來ル、又
會社ノ業務ガ尙ホ著シク不良デアル場合ニ
於テハ、業務ヲ全然停止スルト云フヤウナ
命令ガ出來ルト云フ風ニ、規定セラレテ居
リマスガ、此ノ勸告ヤ命令ヲ適用スル場合
ニ於テハ、其ノ會社ノ狀態ガ此ノ本案、詰リ
改正法案ノ施行以前ニ於テ、會社ノ狀態ガ
不良デアル、資產ノ狀態ニモ缺陷ガアル、
其ノ缺陷ヤ不良ガ原因シテ、此ノ改正法案
ガ施行サレタ以後、會社ノ狀態ガ惡クナツ
タト云フ風ナ場合ニ於テハ、此ノ法案ノ第
九十九條ヤ第百條ニ依ツテノ勸告ト云フ風
ナモノハ、考慮ヲスルト云フ御答ノヤウニ
聽イタノデアリマスガ、果シテ政府ノ御方
針ハ左様ナ考ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、
此ノ點ヲ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、ト云
フコトハ、保險會社ノ業務ガ段々不良ノ狀
態ニナツテ行クト云フコトハ、取りモ直サ
ズ不當競争ヲヤツテ、新契約ヲ獲得シヨウ、

利益ヲ舉ガヨウト云フ風ニ焦ルコトガ、

原因シテ居ルト思フノデアリマスガ、私ハ各種ノ生命保険會社、又損害保険會社ニシテモ、現在ニ於テモ相當ノ程度ニ監督指導ヲ強化スル必要ノアルモノガ、相當ニアルノデハナイカト云フコトガ想像サレルノデアリマシテ、又サウ云フ事ガアルガ爲ニ、此ノ改正法律案ガ政府ニ於テ考ヘラレテ來タ大キナ原因ダラウト思ヒマス、勿論商法ノ改正ニ伴フ所ノ此ノ法律ノ改正ハ、必要デアリマセウガ、併シ此ノ法律ヲ改正シタ眼目ハ、此ノ要旨ノ第一ニアル所ノ監督ヲ強化スルト云フコトト、又此ノ法律ノ第九十九條、第百條ニ於ケル所ノ勸告、命令ト云フ風ナモノヲ、一步進ンデ出來得ルト云フ必要ヲ認メルヤウナ狀態ニ、現在ノ保險事業ノ業界ノ狀態ガナツテ居ル、斯ウ云フ強化スルヤウナ狀態ニアルトスルナラバ、既ニ監督、命令ヲ云フコトデアルナラバ、既ニ監督、命令ヲ強化スルヤウナ狀態ニアルトスルナラバ、此ノ法律案ガ施行サレタ將來ニ於テ、現在ニ於テ既ニ惡イ其ノ狀況ハ、勿論此ノ法律案ガ施行サレルマデニ、一朝一夕ニ會社ノ業態ハ改善サレベキモノデハナイト思フ、寧ロ競争ガ依然トシテ熾烈デアツテ、段々悪化スルト言ツテモ改善サレルト云フコトハ、

吾々素人ノ眼カラ見テモ、想像ガ出來ナイノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ政府ハ、此ノ改正法律ヲ施行前ノ會社ノ狀態ノ不良ニ因ツテノ缺陷デアルトシテ、此ノ改正法律ヲ施行シタ場合ニ於テ、手心ヲスルト云フ風ナコトガ若シモアリマスルナラバ、寧ロ政府ノ責任ニ於テ保険契約者ノ利益ヲ害スル、廣ク言ヘバ社會公益ニ害ヲ及ボスト云フコトガ、政府ノ責任ニ於テヤルノダト云フ風ナコトヲ、言ヒ得ルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、牧局長ノ紅露委員ニ對シテ昨日御答ニナツタ第九十九條、第百條ノ運用ニ付テノ御考ヲ、モウ一層明確ニ御伺ガ致シタイト思ヒマス

○牧政府委員 紅露サンントノ御話ヲ繰リ返スヤウデ恐レ入りマスガ、紅露サンハ初メ此ノ改正法律ニ依リマシテ、多數ノ會社ヲ一舉ニ整理スルト云フヤウナ噂ガアルガ、ソレハドウカト云フ御尋デゴザイマシタ、ソレニ對スル私ノ答ノ要點ヲ申上ゲマスト、保険契約ノ維持存續ト云フコトヲ、根本ノ監督方針トシナクテハナラナイ保険事業ニ於キマシテハ、一舉ニ整理スルガ如キハ、希望スル譯デアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、根本ノ考ハソコニゴザイマスガ、今木村サンノ御尋ノヤウナ點ガゴザイマシテ、現在業績ノ惡イモノニ對シテ何モ

シテ紅露サンハ、ソレデアレバ今斯ウ云フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テ政府ハ、此ノ改正法律ヲ施行前ノ會社ノ狀態ノ不良ニ因ツテノ缺陷デアルトシテ、此ノ改正法律ヲ施行シタ場合ニ於テ、手心ヲスルト云フ風ナコトガ若シモアリマスルナラバ、寧ロ政府ノ責任ニ於テ保険契約者ノ利益ヲ害スル、廣ク言ヘバ社會公益ニ害ヲ及ボスト云フ風ナコトガ、政府ノ責任ニ於テヤルノダト云フ風ナコトヲ、言ヒ得ルノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、牧局長ノ紅露委員ニ對シテ昨日御答ニナツタ第九十九條、第百條ノ運用ニ付テノ御考ヲ、モウ一層明確ニ御伺ガ致シタイト思ヒマス

シテ紅露サンハ、ソレデアレバ今斯ウ云フ極端ナル規定ヲ置ク必要ハナイデハナイカ、イト云フ御尋デゴザイマス、現在業績ガ惡言ハバ世間ヲ騒ガスヤウナ極端ナ規定ヲ置イテ、却テ業界ニ迷惑ヲ及ボシテ居ルノデリニ、競爭ノ激シイ爲ニ來ル業績ノ低下、ソレカラ業務ノヤリ方ノイケナイガ爲ニ來ル業績ノ低下デアルヤウニ考ヘマス、是等掲ゲテ、サウ云フ波紋ヲ起シテ居ルノデハナイカト云フ、言ハバ必要ノナイコトヲ對シマシテ私ハ、今ノ問題ヲ申上ゲテ居ルノデナク、過去ノ監督上ノ經驗カラ申シマスト、如何ニ業績ノ向上ニ努スマシテモ、經濟界ノ大キナ波瀾變動ニ當リマシテ、非常ニ不良ナ會社ヲ生ズルコトガアル、サウ云フ場合ニハ出來ルダケ早ク之ヲ處理シテ、契約者ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウニスルコトガ、

マシテ最モ必要デアルヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、又競争ノ弊カラ生ズル業績ノ低下ニ付キマシテハ、先程申シマシタ通リニ色々ノ手段ヲ盡シマシテ、監督權ノ強化ニ依リマシテ各種ノ有效ナル手段ガ執ラレルト思ヒマスガ、ソレ等ヲ手ヲ盡シテ業績ノ向上ヲ圖リタイト考ヘテ居ル譯デアリマ

等ノ適用ニ向ツテハ十分ナル御注意ヲ願ヒ
タイト思フ、是ハ私ノ希望デスカラヘソレ
ダケ申上ゲテ置キマス、ソコデ尙ホ御伺シ
マスクトハ現在ノ保険業界ノ状態ガ色々此
ナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ事業經

ガ、中々ソレハ困難デハナイカト思フ、現在ノヤウナ保険業界ノ状態ニ鑑ミマシテ、此ノ法律ヲ適用シテ、政府ハ事項ヲ示シテ協定ヲ段々ヤラシテ行クト云フ御考ガアリマスカ、此ノ點モ一つ承ツテ置キタイト思ヒマス

○木村委員 私ノ質問ハ大體以上デスが、
唯一點御伺シテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒ
マス、生命保険會社ノ契約ノ、約款ニ依ツ
テ、又其ノ保險料ノ收入ニ依ツテ、資產ヲ
運用シ、剩餘金ノ生ジタ場合ニ於テ、契約

マシテ最モ必要デアルヤウニ考ヘテ居ル次
弟デアリマス、又競争ノ弊カラ生ズル業績
ノ低下ニ付キマシテハ、先程申シマシタ通
リニ色々ノ手段ヲ盡シマシテ、監督權ノ強
化ニ依リマシテ各種ノ有效ナル手段ガ執ラ
レルト思ヒマスガ、ソレ等ヲ手ヲ盡シテ業績
ノ向上ヲ圖リタイト考ヘテ居ル譯デアリマ

等ノ適用ニ向ツテハ十分ナル御注意ヲ願ヒ
タイト思フ、是ハ私ノ希望デスカラ、ソレ
ダケ申上ゲテ置キマス、ソコデ尙ホ御伺シ
マスコトハ現在ノ保険業界ノ状態ガ色々々此
ノ委員會ニ於テモ論議サレルヤウナ状態ニ
ナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ事業經
營ニ關スル統制ノ規定モ、此ノ改正法案ニ

ガ、中々ソレハ困難デハナイカト思フ、現在ノヤウナ保険業界ノ状態ニ鑑ミマシテ、此ノ法律ヲ適用シテ、政府ハ事項ヲ示シテ、協定ヲ段々ヤラシテ行クト云フ御考ガアリマスカ、此ノ點モ一つ承ツテ置キタイト思ヒマス

○木村委員 私ノ質問ハ大體以上デスが、唯一點御伺シテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、生命保險會社ノ契約ノ、約款ニ依ツテ、又其ノ保險料ノ收入ニ依ツテ、資產ヲ運用シ、剩餘金ノ生ジタ場合ニ於テ、契約者ニ對スル配當ヲ各社ガヤツテ居リマス、今マデハ各社間ノ配當ノ率モ漸次引上げテ

シタノデアリマスガ、勿論會社ノ監督等ニ付キマシテハ、其ノ一般ノ業界ニ及ボス影響ト云フ風ナモノガ、非常ニ明敏ニ映ズルシテモ十分ニ慎重ノ上ニモ慎重ヲ期スルト云フコトモ想像シ得ルノデアリマス、デアリマスカラ此ノ點ニ向ツテハ政府ト致シマシテモコトガ必要ダト思ヒマスガ、餘リニ又慎重ヲ期シ過ギテ時機ヲ失スルヤウナコトハ、是モ亦却テ保険契約者ノ利益ヲ害スル、延メテハ窮極スル所會社ヲモ利スル原因デバナイト思フノデアリマスガ、要スルニ是

フコトハ、獨り此ノ保険業界ノミナラズ、各種ノ業界ニ於テモ同様デアルト思ヒマス、先程モ八木委員カラ御話ガアリマシタケレドモ、省令デ以テ保険外務員ノ規定ト云フモノガアツテモ、サウ云フモノガ中々各社間ニ於テ遵守サレテ居ラナイ、其ノ方面ニ於ケル不當競争ノ防止ガ困難デアルト云フ建前カラ考ヘマスト、中々保険會社ガ或ハ保険協會ト云フ風ナモノヲ組織シテ居ツテ、其ノ協會ノ力ヲ以テ自主的ナ統制ヲ協定スルト云フコトニナルダラウト思ヒマス

合ハ色々他ニ方法ヲ講ジテ見タイト思ツテ
居リマスガ、其ノ必要トスル程度ニ依リマ
シテハ保険當局ト致シマシテ第十一條ノ第
三項ノ統制協定ヲセシムルヤウニ、努メタイ
ト考ヘテ居ル次第デアリマス、尚ホ先程ノ
質問ニ關聯シマシテ御希望ノアリマシタ
點、即チ保険契約者ノ利益ヲ擁護スル爲ニ
ハ、時機ヲ失シナイヤウニスルコトガ必要
デアルト云フ御注意ハ、私共トシテ非常ニ
考慮シナクテハナラヌ點デアルト考ヘテ居
リマス

見致シマスト一昨年カラ配當ヲ制限サレテ、配當ノ低下ヲ懲憲シ、一昨年モ昨年モ生命保険會社ノ社員ノ配當ハ引下ヲヤツタ、サウシテ國策ニ順ジテ、公債方面ニ出來ルダケ會社ノ資產ノ運用ヲ懲憲スルト云フ方針ニ則リテ居ラレタト考ヘマス、昨年アタリマデ引下ゲタ社員ニ對スル配當率ヲ今後モ引續イテ政府ハ其ノ引下ヲ懲憲スル御考デアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺致シマス、ソレト此ノ剩餘金ハ、會社ガ約款ニ依ツテ社員ニ配當ヲスル外、他ニ振向ケ得ラレナイ金ダ

ト考へマス、サウ云フ點カラ考ヘルト、之ヲ何處マデモ低下シテ、會社ノ内部ニ保留サセル、是ハ會社内部ノ保留ヲ増加シ、國策ニ準ジテ、會社ノ資産ヲ公債方面ニ振向ケルト云フ點カラ考ヘレバ宜イカモ知レマセヌ、ソレナラバ、初メカラ保険會社ノ一般ノ資產ノ運用ニ付テ、モウ少し公債ノ保有量ヲ増加セシメレバ、十分其ノ目的ヲ達シ得ルデハナイカ、斯ウ云フコトモ考ヘテ居リマス、併シ例ヘバ一般ノ紡績會社、或ハ所謂近時殷賑產業ト言ハレル工業方面ニ向ツテモ、其ノ株主ニ對スル配當制限ハ、商工省ニ於テハ餘リヤツテ居ラナイヤウニ考ヘマス、單リ保險業界ニ於ケル剩餘金ノ社員配當、契約者ニ對スル配當ニ對シテノミニ制限ヲ慾漁スル——從漁デハナイ寧ロ稍、強制的ニ要求スルヤウニモ伺ツテ居リマスガ、此ノ點ハ尙ホ將來ニ於キマシテ強ク慾漁スル御考デアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○牧政府委員 保險契約者ニ對スル配當ニ付キマシテノ御尋デアリマスガ、昨年ト一昨年ノ二回ニ亘リマシテ、所謂契約者配當ヲ引下ゲマシタノデアリマス、是ハ其ノ當時當局談ノ形式ヲ以テ發表シテ居リマスガ、當局談ノ影響ヲ慎重ニ考ヘナケレバナラヌ、隨テ今

保険金ノ支拂增加、金利ノ低下等ニ依リマシテ、ア云フ處理ヲナサルコトガ却テ保険界ノ一般カラ見テ、信用ノ増加ニ資セシム所以デハナイカト考ヘタノデアリマス、勿論保險契約者ニ對スル配當ハ、御承知ノ通り毎年何分ヲ配當スルト云フ建前デハナイノデアリマス、法律關係即チ約款ノ上ニ於テハ剩餘金ノ生ジタ場合ニ、一定ノ計算ヲ致シマシテ、其ノ計算ニ依ツテ生ジタルモノヲ返スコトニナツテ居ル譯デアリマス、ソレヲ勸誘上ノ都合——加入者ニ對スル營業政策ト致シマシテ、確定的ニ配當スルガ如ク言ツテ居ルノデゴザイマス、會社ノ業績ガ順調ニ運ンデ居ル場合ハソレデモ宜カラウト思ヒマスガ、此ノ一兩年ニ於キマシテ、當時ノ時局談ニ申述ベテ置キマシタ通りノ事情ヲ前ニ致シマシテハ、若干ノ引下ヲ行ヒマシテ、無理ナ配當ヲスルコトニ依ツテ會社ノ基礎ヲ脅カスコトノ生ジナイヤウニスルノヲ、最モ適當ト考ヘタ譯デアリマス、併シナガラソレハ理窟デゴザイマシテ、實際カラ申シマスト、ヤハリ配當ヲ引下ゲマシタノデアリマス、是ハ其ノ當時當局談ノ形式ヲ以テ發表シテ居リマスガ、當局談ノ影響ヲ慎重ニ考ヘナケレバナラヌ、隨テ今

約者ニ對シテ御迷惑ヲ掛ケタコトハ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、御承知ノ通りシテ、ア云フ處理ヲナサルコトガ却テ保険界ノ一般カラ見テ、信用ノ増加ニ資セシム所以デハナイカト考ヘタノデアリマス、勿論保險契約者ニ對スル配當ハ、御承知ノ通り毎年何分ヲ配當スルト云フ建前デハナイノデアリマス、法律關係即チ約款ノ上ニ於テハ剩餘金ノ生ジタ場合ニ、一定ノ計算ヲ致シマシテ、其ノ計算ニ依ツテ生ジタルモノヲ返スコトニナツテ居ル譯デアリマス、ソレヲ勸誘上ノ都合——加入者ニ對スル營業政策ト致シマシテ、確定的ニ配當スルガ如ク言ツテ居ルノデゴザイマス、會社ノ業績ガ順調ニ運ンデ居ル場合ハソレデモ宜カラウト思ヒマスガ、此ノ一兩年ニ於キマシテ、當時ノ時局談ニ申述ベテ置キマシタ通りノ事情ヲ前ニ致シマシテハ、若干ノ引下ヲ行ヒマシテ、無理ナ配當ヲスルコトニ依ツテ會社ノ基礎ヲ脅カスコトノ生ジナイヤウニスルノヲ、最モ適當ト考ヘタ譯デアリマス、併シナガラソレハ理窟デゴザイマシテ、實際カラ申シマスト、ヤハリ配當ヲ引下ゲマシタノデアリマス、是ハ其ノ當時當局談ノ形式ヲ以テ發表シテ居リマスガ、當局談ノ影響ヲ慎重ニ考ヘナケレバナラヌ、隨テ今

○松田委員 大體外ノ委員カラ御尋ガアリマシタガ、御承知ノ通り色々ナ保険金ノ支拂ノ增加ガ非常ニ著シイノト、最近ノ低金利ニ基ク利廻ノ低下等ニ依リマシテ、剩餘金ノ高ハ寧ロ減ツテ居ルノデアリマス、隨テ剩餘金ガ餘計殘ルデハナイカト云フ意味ニ於ケル考慮ハ、目下ノ所シニクイデハナカラウカト考ヘテ居リマス、併シナガラ御話ニナリマシタ公債ニ付キマシテハ出來ルダケ考慮致シマシテ、保有量ノ増加ニ努メシテ居ル譯デアリマシテ、其ノ高モ色々御議論ガアリマスガ、最近ハ五億近クニナリマシタ、ソレガ急激ナ増加デアル點ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、今後モ時局ノ進展等ニ依リマシテ、之ヲ必要トスルコトガ痛感セラレルヤウナラバ、是等ノコトハ餘リ好マシクナイト思ヒマスガ、サウ云フコトガ生ジタ場合ニハ、保險會社モ同様ニ或ハ進ンデ持ツヤウニ吾々トシテモ仕向居ルモノニ對シテ法律ヲ改正シナケレバナラヌト云フ叫ビハ長年アツタノデアリマス、ダカラ今度ノ改正法律案ハ成程宜イ所モアル、ケレドモ大體監督ヲ嚴ニスルコトデアル、是ハ惡イ事デハナイ、私ハ惡イカラ言ケテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマスノデハナイ、ケレドモコンナセセツコマシイ監督ノ法律ヲ強化シテ、其ノ法律ヲ使

ノ所デハ契約者配當ヲ又下ゲサセル考ハ持ツテ居リマセヌ、大體ニ於キマシテアレ以シテ、ア云フ處理ヲナサルコトガ却テ保険界ノ一般カラ見テ、信用ノ増加ニ資セシム所以デハナイカト考ヘタノデアリマス、勿論保險契約者ニ對スル配當ヲ引下ゲシムルコトニ依ツテ、剩餘金ガ餘分ニ残ルカノヤウナ御話デゴザイマシタガ、御承知ノ通り色々ナ保険金ノ支拂ノ增加ガ非常ニ著シイノト、最近ノ低金利ニ基ク利廻ノ低下等ニ依リマシテ、剩餘金ガ餘計殘ルデハナイカト云フ意味ニ於ケル考慮ハ、目下ノ所シニクイデハナカラウカト考ヘテ居リマス、併シナガラ御話ニナリマシタ公債ニ付キマシテハ出來ルダケ考慮致シマシテ、保有量ノ増加ニ努メシテ居ル譯デアリマシテ、其ノ高モ色々御議論ガアリマスガ、最近ハ五億近クニナリマシタ、ソレガ急激ナ増加デアル點ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、今後モ時局ノ進展等ニ依リマシテ、之ヲ必要トスルコトガ痛感セラレルヤウナラバ、是等ノコトハ餘リ好マシクナイト思ヒマスガ、サウ云フコトガ生ジタ場合ニハ、保險會社モ同様ニ或ハ進ンデ持ツヤウニ吾々トシテモ仕向居ルモノニ對シテ法律ヲ改正シナケレバナラヌト云フ叫ビハ長年アツタノデアリマス、ダカラ今度ノ改正法律案ハ成程宜イ所モアル、ケレドモ大體監督ヲ嚴ニスルコトデアル、是ハ惡イ事デハナイ、私ハ惡イカラ言ケテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマスノデハナイ、ケレドモコンナセセツコマシイ監督ノ法律ヲ強化シテ、其ノ法律ヲ使

○田中委員長 ソレデハ次ニ松田君ニ御發言ヲ御許シ致シマスガ、前以テ御諒解ヲ願ツテ置キマス、今八木君カラノ保留モアリマスシ、ソレカラ保留ノ分ハ大臣或ハ保險ノ政府委員方見エタ時ニハ、其ノ間御譲りヲ願ヒタイト思ヒマス

フカト云ツタラ使ヒヤシナイ、餘リ多クハ使
ハヌ、ソレデ此ノ改正ヲ爲スト共ニ此ノ法律
ヲ實際的ニ使フカドウカ、是ハ今後ノコト
デアリマスカラ今御答辯ヲ受ケルコトハ困
難デアリマスガ、此ノ監督ノ強化ト云フコ
トガ合併ヲ強ヒルコトニナル、商工省ノ方
デハサウヂヤナイ、少サインニモ親切ニシ
テヤル、寧ロ大キイノヨリ小サインヲ先ヅ
可愛ガツテヤル、決シテ此ノ法律ノ改正ヲ
以テ合併ヲ強ヒテ、五大會社ニ加フルニ三
大會社、八大會社位ノモノニ集メシマフ
ト云フ意見ハナインダ、今ハサウ云フ風ニ
御答ニナル、成程サウ言フヨリ御答ノ方法
ハナイデセウ、併シ吾々此ノ法律案ヲ審議
スル者カラ考ヘテ見マスト、選舉法ヲ改正
スルニ當ツテ、吾々ガ審議スル時ニ十分ニ
念ヲ入レテ政府ノ意ノアル所ヲ質シタ、然
ルニ一度議會ヲ通過シテ、ソレガ實施シタ
曉ニハ、御承知ノ如クアノ人權蹂躪ト云フ
如何ハシイコトガアツテ、アノ爲ニ國民ト政
府トノ間ニ大ナル摩擦ヲ生ジタ、是ガ時局ニ
反映ヲ致シテ今國民精神總動員ノ上ニドレダケノ支障
ヲ來シテ居ルカ、斯ウ云フヤウナ、一ツノ例
デアリマスケレドモ、申上ゲテ御参考ニ供

シマス、此ノ法律ガ出マスト云フト、キツト小
サイ會社ガ困ルヤウナ監督ヲナサルノデハ
ナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソレハ何
問ガアリマシタガ、官界ノ人ガ大キニ保険會社
ニ行ツテ居ル、斯ウ云フヤウナコトモアリ
マセウ、アリマセウケレドモ、ソレノミデ
ハナイ、ヤハリドウシテモ大キイ資本ヲ持
ツテ掛ツテ居ル所ハ、政府ト頻繁ニ往復モ
スレバ意思ノ疏通モ圖レル、サウスルト段
段此ノ大キナ會社ガ營業成績ヲ擧ゲルコト
ガ出來得テ、小サナモノハ忘レラレテ行ク、
斯ウ云フ風ニナツテ行ク所ニアア云フ計理
士等ノ問題、或ハ検査ラスル問題——吾々
ハ他ノ營業界ニ於テ大藏省ノ検査ヲ受ケ
タ、ソレ等ニ對シテ長年ノ間其ノ検査ノヤ
リ方ガイカヌト云フコトヲ叫ンデ來タノデ
アリマスガ、ドウモサウ云フヤウナ筆法デ、
キツト此ノ法律ガ假ニ通過致シマスレバ、
ソンナ結果ヲ齎スノデヤナイカト吾々ハ疑
惧スル者デアリマス、ソレデ一點承ツテ置
置イテ、保険加入者ニ便利ナ方法ヲ執ルノ
ナモノハ、小サイモノヲ成ベク津々浦々ニ
キタイノハ、斯ウ云フ保険會社ト云フヤウ

監督ヲ嚴ニシナケレバイカヌ、ケレドモ大キナ會社デヤツテ居レバ隨分勝手ナコトヲスル、又官僚的ナヤリ方ヲシテ來テ、保険契約者ニ對スル色々ナ不親切ナ事項モ出來テ來ル、デアルカラ是ハ津々浦々ニ、三等郵便局ヲ作ルガ如ク、小サイモノヲ餘計作ツテ、サウシテ監督ヲ嚴ニシテヤルト云フコトガ、此ノ保険業界ノ眞ノ發達ヲ遂ゲシムベキ所以ノモノデヤナカラウカト思ヒマスガ……

○牧政府委員 松田サンノ仰セノ通りニ、改正法デ監督權ガ強化サレテ居ル點ガ相當ゴザイマス、其ノ程度ヲ申上ガマスト、他ノ監督法規ノ程度ニ強化シタ譯デハゴザイマスガ、御指摘ノ通りニ數點監督ノ爲ノ規定ガ設ケラレテ居ル譯デゴザイマス、此ノ監督權ノ強化サレタ規定ノ運用ニ付キマシテ、最モ適正ヲ期セナクテハナラヌコトハ、是亦全ク同感デゴザイマスガ、其ノ根本的ノ考ヘ方トシテハ、保険會社ハ出來ルダケ多數ニ置イテ、津々浦々ニマデ保険ガ普及スルヤウニスルコトガ必要デアラウ、監督ヲ嚴重ニシナケレバイカヌト云フ御尋デゴザイマスガ、各國其ノ保険事業ノ狀態ガ異ツテ居ルノデゴザイマシテ、或ル國ニ於キマシテハ相當——日本ト同ジ程度ノ國

「ローカル」的ナモノデゴザイマス、隨ヒマシテ御承知ノ通り、保険會社ハ危險團體ヲ大キク構成スルコトガ、一ツノ經營上ノ要點トナツテ居ルノデアリマス、廣ク危險分散ヲ圖リマシテ其ノ事業ノ安固ヲ圖ルコトガ必要デアルト云フコトカラ致シマシテ、ソレ等ノ國ニ於キマシテハ必ズシモ保険事業ヲ行ツテ居ル者ノ成績ハ宜シクナイカノヤウニ聞イテ居リマス、隨ヒマシテ我國ニ於ケル保険會社ヲ、現在以上ニ多數ノ會社ヲ置キマシテ監督ヲ圖ルコトハ、ソレ等ノ國ノ歴史カラ見マシテモ如何カト考ヘラレルノデアリマス、尙ホ其ノ上ニ今存在シテ居リマスル保険會社ノ營業範圍ハ殆ド全國的デアリマス、ノミナラズ多クノ會社ニ於キマシテハ全國ニ其ノ保険ノ普及スベキ機關ヲ持ツテ居リマシテ、津々浦々ニ至ルマデ保險的ノ利益ヲ得ルヤウニ仕組ガ出來テ居ルノデアリマス、併シ保險的利益ガ國民ノルノデアリマス、隨テ是以上多數ノ會社ニ於キマシテハ其ノ會社ノ保険事業ヲヤウナ所モゴザイマス、併シナガラ是等ノ國ニ於キマシテハ其ノ會社ノ保険事業ヲヤツテ居ル者ノ關係スル範圍ハ非常ニ狭イ

カト云フ御趣旨ハ、御尤ト考ヘル次第デア
大多數ニ及ブヤウニスルコトガ必要デナイ
リマス

○松田委員　此ノ検査ノ場合ニスガ、大蔵省關係ニ於テハ検査ノ方法等ニ付テハ、詳リマス、併シナガラ方針デアリマス、方針ウ云フヤウナコトハ今マデニ種類ハ違ヒマスケレドモ、官吏ガ出向イテ検査ヲスル場合ニハ、隨分亂暴ナコトヲヤツタモノノデアル、商工省内ニ席ヲ置イテ居ラレル人ノ方針ハサウデナイデセウケレドモ、外ニ出テ來ル小官吏ガヨクヤル、ソレヲ以テ愉快トシテ居ル、吾々ハ二十年之ヲ體験シテ居ル、今ハ時代ガ變ツテ居ル、サウ云フ方針デ以テヤラレルト、検査ヲ證カル方法ヲ又國民ハ考ヘル、ソレデ此ノ監督ヲ強化シ、検査ヲ綿密ニスルト云フ一つノ武器ガ、會社ノ合併ノ所謂一つノ方法ニナツテ來ル、公ノ席上デ聽ケバ決シテサウデハナイ、サウデ實其ノ場合ニ臨ンデ検査サレル時ニハ、サウナダトハ言ウテ居ルケレドモ、事シイ、ヤカマシイ、コンナウルサイニコトデハ吾々モ、モウ止メナケレバナラヌ、一寸

シタコトデモ亦叱ラレルカモ知レヌ、又サウ法律ヲ詳シク承知シテ居ル者バカリデモナイカラ、是デハ又刑事問題ガ起リハセヌカト云フヤウナコトカラ、仕方ナシニ、ドウセ吾々ハ之ヲ永續シテヤルコトハ出來ナイ、負ケルカラ買ウテ吳レヌカ、斯ウ云フヤウニ出夕場合ガ銀行ノ場合ニハ相當アリマス、私ハ保険法ノ改正ニ當ツテ小ナナ保険會社ナドカラ考ヘテ見マスレバ、ソレヲ心配シテ居ルノデハナイカト思フ、サウ云フ事實ニ依ツテ合併ヲ強フルヤウナコトハ斷ジテナイ筈デアルシ、今御答辯ヲ求メタ所ガ、斷ジテナイト云フ御答辯ヲ得ラレルダケデセウ、ケレドモ實際ニ於テソンナコトガアルノデス、ソレハ此ノ席上ニ於テ固クナイト云フコトヲ保證シテ戴ケルカドウカ

○牧政府委員　監督權ヲ強化スルト、其ノ検査ガ嚴シケレバ結局ハ會社ガ其ノ儘デハ濟マスコトガ出來ナクナツテ、合併ナリ閉止ナリスルヤウニナルノデハナイカト云フ御尋デアリマス、御尤ナコトト思フノデアリマス、餘談ヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、先日私ハ生命保險ノ團體ノ集リニ參リマシテ、同様ナ心配カラ其ノ御尋ガゴザイマシタ、之ニ對シマンシテ此ノ委員會デ申上ゲタ

ソレニ加ヘテ監督ノ根本精神トスル所ハ、
結局現在契約ノ維持ト云フコトニアルノダラウ、サ
持セシムルト云フコトニアルノダラウ、サ
ウ云フ意味カラ言ヘバ業界ニ波紋ヲ起スコ
トハ非常ニ相反シタ結果ヲ生ズルデアラウ
ト云フコトヲ申上ゲタ次第アリマス、殊ニ
監督行政ニ當ル者ノ心掛トシマシテハ、ヤ
タラニ非違ヲ舉ゲテ之ヲ罰スルト云フヤウ
ナ態度ヲ以テスペキデハナイ、所謂監督ノ
虎ノ巻ヲ隱シテ行ツテ、其ノ非違ヲ舉ゲテ
喜ブヤウナコトデハイケナイ、サウ云フモ
ノガアレバ知ラシムベキデ、知ラシメテ其
ノ非違ヲナカラシムルヤウニズルコトガ、
一番根本問題デハナカラウカト思フ、サウ
云フ精神ト、先程申シマシタヤウナコトヲ合
セマシテ、御心配ニナルヤウナ點ハナカラ
ウト思ツテ居リマス、要スルニ多數契約者
ノ利益ヲ保護スル爲ニ必要トスル所ハ、會
社ヲ潰シテ達セラレルノデハナイト云フコ
トヲ、詳シク申上ゲタ次第アリマス、サ
ウ云フ考デ居リマスカラ御心配ノヤウナ點
ハナカラウト思ヒマス、殊ニ御説ノヤウニ
多數ノ會社ライズタルト云フヤウナコトヘ、
今言ツタヤウナ精神カラハ出テ來ナイヤウ

トニ致シマスガ、併シ事實ノ例ハヤハリ警察官ガ犯罪ノ檢舉ニ當ツテ、良イ事件ガ出来タカラヤラウデヤナイカト云フヤウナコトヲ、能ク言フモノデス、警官ト商工省ノ検査員トハ同ジヤウニハ思ヒマセヌケレドモ、ヤハリ指導シテヤル、缺陷ガアレバ其ノ缺陷ヲナクスルニハ、斯ウ云フ方法ガドウカ、斯ウモヤツタラドウガト言ツテ貰ヘバ、其ノ嬉シサニ感ジテ、心カラ眞面目ニ營業ラスルヤウニナツテ來ル、ソコガ所謂檢查ノ技術デアル、最善ノ御注意ヲ御願シテ置キマシテ、此ノ點ニ付テハ是デ打切リマス、モウ一ツ株式ノ問題デアリマス、所謂資產勘定ニ置クベキ株式ノ問題デアリマス、先程承ツテ見ルト、株主總會ニ依ツテソレヲ決メテ商工省ガ認可スル、斯ウ云フヤウニ承リマシタガ、サウ云フヤウナコトニナツテ居リマスルカドウカ、更ニ方法ヲ承リタイルノデヤナイカト思ヒマスガ……

○松田委員 先程八木君カラノ御質問デアツタト思ヒマスガ、所有株ノ價格ヲ資產ニ置ク場合ノ御話デハナカツタカト思ヒマスガ、ソレデナカツタナラバ更ニ申上ゲマス、會社ガ株ヲ持ツテ居ル、其ノ株ハ幾ラデ貰

ウタカト云フト、例ヘバ五十圓拂込ノ株ガ六朱ノ配當ヲシテ居ル、ソレヲ五十五圓デ買ウタ、斯ウ云フ場合ニ株ノ實價ガ上ツテ來テ六十圓ニナツタ、斯ウ云フ時ニハ資產勘定ニ於テ五圓殖ヤシテ行ク、サウ云フコトハ會社ノ言フ通りニ上ゲサセテ居ルノカドウカト云フコトデアリマス

○牧政府委員 先程ノ八木サンノ御尋ハ、會社ノ資產ノ記帳價格ト時價トノ差ガアル場合ニ、評價換ヲスル、其ノ評價換シタ損失ノ方ダケハ決算デ認メルト云フヤウナ趣旨デ補ヒラサセル、評價益ニナル場合ハ從來制限ヲシテ居ツタガ、其ノ點ハドウカト云フ御尋デアリマシテ、今松田サンノ御尋ノ五十五圓デ買ツテ五十五圓デ記帳シテ居モノガ、六十圓ニナリマスト五圓ノ評價益ガアリマスガ、ソレハ認メルト云フコトニ御答ヲシタ譯デアリマス

○松田委員 ソレハ少シ危險ノヤウニ思ハレルノデゴザイマスガ、實際サウ云フコトニ御携リニナツテ居ルカラ、今日マデノ御體驗モゴザイマセウガ、歐洲大戰當時ニ御承知ノ通リ有ユル株ハ値上リ致シタノデゴザイマス、ソレデ其ノ歐洲戰爭當時ニハ、世界ノ大勢カラ考ヘテ、百年モアノ歐洲戰爭が續クヤウニ思ウテ、會社ノ如キハ「ボ

金ヲ持ツテ居ル、自分で持ツテ居ル有價證券其ノ他ノモノヲ全部金庫ノ中ニ入レテ、尙も茲ニ百万圓アルト言ヘバ、此ノ百万圓ノ金デ以テ株ヲ買取ツタ場合ニハ投機資金トハ申サレマスマイ、併シナガラ大キナ保険會社ノ株ヤ有價證券ト云フモノハ、皆悉ク金庫ノ中ニ入レテ居ルカト云フトサウデハナイ、銀行カラ借リテ居ル、サウスルト其ノ百万圓ノ金ト云フモノデ以テ買ツタ場合ニハ、是ハ投機資金ト見ルヨリ仕方ナイト私ハ思ヒマスガ、アナタハ投機資金ト見マセヌカ、見ナイナラバ其ノ理由ヲ一ツ説明シテ戴キタイ。

ウ云フ危険性ヲ冒シテ價格變動ニ因ル利益ヲ得ヨウトスル、サウ云フ風ナ思惑ト云ト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ通常定期取引ニ於キマシテハ御承知ノ如ク證據金ダケヲ入レマシテ、又保險會社ノ如ク取引ニ信用ヲ持ツテ居ルモノハ、證據金ナシデモ賣買ヲヤルコトガ出來ルノデアリマスカラ、詰リ少額ノ資金デサウ云フ多數ノ株式ヲ買フ約束ガ出來ルノデゴザイマス、併シナガラ其ノ定期取引デ約定致シマシテ、實際其ノ期日ニ來テ全部株ヲ引取レバ、何万株ト云フヤウナ株ヲ買入レル一ツノ方法ト見得ル場合モアルヤウニ考ヘルノデアリマス、事實又大キナ會社ニ於キマシテハ、一時ニ何千株、何万株買入レル場合モゴザイマスカラ、常ニ實物市場デソレヲ調ヘルト申シマシテモ、場合ニ依リマシテハコンナ場合ガアルト云フ風ニ見テ居ルノデゴザイマス

シマスト、假ニ昨日ノ午前中ニ東新ヲ百三
十四圓デ五千株賣付ケタ、保證金ハ持ツ
テ行カナイ、今日ノ前場ヲ見ルト五圓上ツ
テ百三十九圓ニナツテ居ル、ソレデ保證金
ヲ持タセテヤラウト云フ時ニ、今日ノ前場
ハドウダト云フト百三十九圓デアツタ、ソ
レデハ上ツタヂヤナイカ、デハ賣ツテ置イ
テ吳レスカ、斯ウ云フコトヲ保證會社ガ言
ヘマスカ言ヘマセヌカ、之ヲ許スカドウカ、
事實ノ例ヲ引イテ御説明ヲ承リタイ
○吉岡説明員 只今申サレマスヤウナコト
ハ、保證會社トシテ斷ジテ許スベカラザル
コトハ、御考ヘノ通りデゴザイマス、又サ
云フコトハ假ニ實物ノ形式ヲ執リマシテ
モ、非常ニ惡イ場合ヲ考ヘマスレバ、絕對ニ
豫想サレナイトモ言ヘナイノデアリマシテ、
結局保證會社ノ役員ナリ、サウ云フ衝ニ當ル
人ガ會社ノ爲ニヤル、又主務官廳デハサウ
云フコトヲヤラナイヤウニ十分ニ監督指導
ヲシテ行クト云フコトヲ申上ゲルヨリ、仕
方ガナイノデハナイカト思ヒマス
○松田委員 段々話ガ分ラヌヤウニナツテ
來マス
○田中委員長 松田サン、大臣ガ御見エニ
ナリマシタカラ、マダ間ハレルナラバ一應
保留サレテ、大臣ニ對スル御質問ヲサレテ

○松田委員 ソレデハ事務的ナコトハ保留シマス、商工大臣ニ御伺シタイノデスガ、現在ノ日本ノ保険會社ガ外國ト再保險ヲ取組ンデ居ル事實ガアルカドウカ

○八田國務大臣 只今御尋ノ點ハアリマス

○松田委員 其ノ額ハドレ位ニナツテ居リマセウカ

○八田國務大臣 其ノ點ハ政府委員カラ御答致シタイト恩ヒマス

○牧政府委員 再保ノ關係ハ損害保障ノ場合デアリマスガ、十二年度ノ數字ヲ申上げマス、賣再保險ガ二千百七十七万七千圓、買再保險ガ百十七万六千圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○松田委員 今ノ數字ハソレデ宜シイノデスカ、確カデスカ

○牧政府委員 説明ヲ落シマシタ、差引致シマシテ賣再保險ニ於キマシテ二千百七十七万七千圓ノ支拂超過ヲ示シテ居リマス、買再保險ニ於キマシテ百十七万六千圓ノ受取超過デアリマス

○松田委員 商工大臣ニ伺ヒマス、此ノ保険ノ改正法律案デアリマスガ、此ノ改正法律案ガ出マシタ時ニ、本會議ニ於テモ或ヘ國營ニスペキモノデハナイカトカ、或ハ小

サイ保険會社ガ是デハ困ルデハナイカトカ、色々ナ質問ガ行ハレタノデアリマス、私モシタカラ、私ハ聽カナカツタノデアリマス、國營ニスルト云フコトハ今ノ國家ノ財政力ラ考ヘテ、餘程至難ナ問題デアラウト思ヒマス、併シ理窟カラ言ヘバ吾々ハ成ルベクサウシテ貴ヒタイ考ヲ持ツテ居ル、併シナガラ今貿易管理ヲヤラレテ輸入ニ對スル制限ヲ行ヒ、外カラ買入レルモノハ成ルベク買入レルナ、物資ハ外カラ買入レタ物ヲ使フナ、ソレヲ材料ニシタ物ヲ節約セヨト云フコトヲ言ウテ居ラレルノデスガ、此ノ保険ガ外國ニ再保險ヲヤツテ、是ダケノ金ガ支拂ニナツテ居ル、是ハ貿易統制ヲヤツテ居ル御考カラ考ヘテ行キマスレバ、是ダケ外國ニ正貨ヲ取ラレテ行クノデス、日本ノ正貨ガソレダケ減ツテ行クノデス、金ガ取ラレテ行クノデス、此ノ保険法ノ改正法律案ヲ出ス位ノ御考ガアツタナラバ、何故之ニ對シテ一應ノ御考ガナカツタカ、時局ダカラ申上ゲルノデアル、商工大臣ハ大臣ニナラレテカラ日モ尙ほ淺イノデゴザイマスガ、一體アナタノ部下ノ保険ニ關スル事務官、並ニ貿易ニ關スル事務官ノ此ノ行キ方

ガ、此ノ再保險ヲ是ナリニシテ置クト云フ
コトハ、我國ノ正貨問題カラ考ヘテ一應ハ
御考ヘニナルベキモノヂヤナイカト思ヒマ
スガ、商工大臣ハ其ノ點ヲドウ御考ヘニナ
リマスカ

○八田國務大臣　只今御尋ノ再保險ノ海外
拂ノ點ニ付キマシテ、御意見ノ點ハ洵ニ大
切ナ點デアルノデアリマス、商工當局ニ於
テモ此ノ事ニ付キマシテハ「ブール」等ヲ設
ケマシテ、之ニ善處スペク只今專ラ研究致
シテ居ルノデアリマス、其ノ取扱方ニ付キ
マシテハ、政府委員ヨリ其ノ現情ヲ御報告
申上ゲタイト思ヒマス

○松田委員　今研究シテ居ル、其ノ取扱ツ
テ居ルコトハ是ハ事務官ニ聽ケバ宜イノデ
ス、私ガ大臣ニ對シテ要求致シタノハソレ
ヲ聽カウト云フノデハナイ、ソレハ御答シ
テ戴カナクテモ宜シイ、唯斯ウ云フ保険法
ノ改正法律案ヲ提出スト云フ商工省ノ精神力
ヲ申スノデス、今五億百二十万圓シカナイ
アノ金デアル、金ノ増産ヲヤレト云フ法律
モ出テ居レバ種々難多ナ法律モ出テ居ル、
貿易關係ニ付テモ成ルベク外カラ買フノハ
止メテ異レ、又國民モ外國カラ買ツタ物ニ
依ツテ作ツタ物ヲ節約セヨト言ウテ居ル時
ニ、此ノ再保險ニ依ツテ二千何百万圓ノ正

貨ガ外國ニ取ラレテ行クノデス、之ヲ此ノ
保險法ノ改正ト同時ニ御出シニナラナカツ
タト云フコトハ、一體商工省ノ方カラ申シ
マスト、貿易關係等ニ於テ申サレテ居ルコ
トハ唯一片ノ形式デアツテ、實際正貨ノコ
トヲ考慮ニ入レテ居ラヌノデハナイカ、斯
ウ云フ議論ガ立ツデヤナイカト云フコトヲ
大臣ニ御伺ヒ致スノデアツテ、此ノ再保險
ト云フモノヲ國營ニスレバ、取ラレテ行ク
ノガ取ラレテ行カヌデ濟ムデヤナイカ、今
ノ國家ノ財政デ二千万圓位ノモノガ許サレ
ヌトハ申サレマセヌ、其ノ點ニ付テ大藏大
臣カラ、此ノ保險法ヲ出ス時ニ、其ノ話ガ
アツタナラバ、何故之ヲ國營ニシナイカ、
國營ニスルコトガ出來ヌト云フ理由ガアレ
バ、其ノ理由ヲ承リタイ

○松田委員 ソコヲハツキリ一ツ御答へ願
ヒタイト思ヒマスガ、サウスルト將來ソレ
ニ付テ御考ニナツテ、日本ノ正貨ヲ外國ニ
取ラレテ行クト云フコトヲ防グ何カノ方法
ヲ急イデ立テル、斯ウ云フ風ニ承ツテ置イ
テ宜シウゴザイマスカ

○八田國務大臣 其ノ實情ニ即シテ、サウ
云フ方法ヲ執リタイト云フコトヲ、只今研
究致シテ居ル譯ニアリマス、尙ホ今考ヘテ
居リマスルコトヲ申上ゲタ方ガ宜シイノヂ
ヤナイカト思ヒマスノデ、政府委員カラノ
説明ヲドウウヅ御聽取り願ヒタイ

○牧政府委員 再保險關係ニ於キマシテ、
支拂勘定ガ結局多イノデハナイカ、其ノ支
拂勘定ヲ少クスルコトガ現下ノ時局ニ對ス
ル重要ナ問題デナイカト云フ御尋デゴザイ
マスガ、御尤ナ點デアルト考ヘマス、一昨
年來カラ色々干渉シテヤラシテ居ルノデア
リマスガ、昨年ニ至リマシテ相當詰ガ進ン
デ、效果モ現ハレテ來テ居ルト思ヒマス
ガ、船體及ビ火災保険ニ付キマシテハ、再保
險ノ「ブル」ヲ結成セシメマシテ、サウシ
テ其ノ「ブル」ニ付キマシテ、出來ルダケ

外國ニ出スモノヲ少クスルト云フ方法ヲ講
ジテ居ルノデアリマス、ソレニ依リマシテ
相當國際貸借ノ關係ヲ改善シ得ルモノノヤ
ウニ考ヘテ居リマスガ、尙ホ此ノ必要ガア
ル場合ニ於キマシテハ、此ノ法律ノ統制規定
等ヲ巧ク利用致シマシテ、サウシテ業者ノ
協定ニ依リマシテ、國際貸借ノ改善ニ即セ
シムルコトガ出來ヨウカト考ヘテ居リマス、
御承知デモゴザイマセウガ、此ノ損害保險關係
係、殊ニ海上保險ニ於キマシテ、再保關係
デ日本ガ不利益ナ地位ニ在ルコトハ十分御
承知ノコトト思ヒマスガ、保險業ノ發達ガ
マダ英國米國等ニ至ラナイ我國ニ於キマシ
テハ、非常ニ同一物件ニシテ危險金額ノ多
イモノノ消化ガ出來ニクイウナヤ狀態デゴ
ザイマス、隨テ或程度ノモノハ外國ニ出し
テ、危險ノ分散ヲ圖ルト云フコトガ必要デ
ゴザイマス、ソレ等ノ點ガ加味セラレマシ
テ、十分改善ヲスル、サウシテ其ノ改善案ニ
依リマシテ御趣旨ノヤウナ點ヲ實現サセタ
イト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス
○松田委員　此ノ保險會社ノ資金ノ運用デ
ゴザイマスガ、此ノ表ヲ戴イタノデスガ、
ノゾ、ソレハ事務當局ノ方ニ承ルコトニ致
シテ、此ノ表ノ上カラ考ヘマシテモ、國債

ノ持チガ少イ、デ之ヲモウ少シ殖ヤサナケレバナラヌト云フコトハ、ヤハリ大分輿論ガ高マツテ來テ居リマス、併シ此ノ保険業ノ毒ナ話デアツテ、又營業費カラ考ヘマシテモ餘計ハ持テマセヌ、併シナガラソレニ付テ大藏大臣所管ノコトデ承リタイノデアリマスガ、公債ノ利廻リト云フモノトト、社債ノ利廻リト云フモノト、株式ノ利廻リト云フモノトヲ昭和十一年度カラ統計ヲ取ツテ見マスルト、公債ノ方ハ御承知ノ如ク借換ヘテ行クモノハ、高日歩ノモノハ借換ヘテ行ツテ、殖エテ行クモノハ、三分五厘ノモノガ殖エテ行クノデアリマスカラ、段々ト利廻リガ悪クナツテ來マス、五分利公債ハマダ大分アリマスガ、是ハ政府筋デ餘計持ツテ居ル、借換ヘヌト申セ、苦シクナツテ來レバ借換ヘテ行カナケレバナラヌ、四分五厘ニ借換ヘテ行ツタ、四分ニ借換ヘテ行ツタト云フコトニナリマスレバ、結局三分五厘ト云フコトニナツテ、單利複利ノ差ハアリマスケレドモ、公債ノ利廻リト云フモノハ三分五厘ニ落付クト云フコトハ、前途万見エテ居ル、社債ハ一流ノモノデ四分三厘ト云ウテ居リマス、サウスルト税引ニ致シマシテモ四

分一厘一寸出ルト思ヒマス、手數料ガ入ツ
テ居リマスカラ——サウスルト株デゴザイ
マスガ、昨年ノ六月ノ平均ハ七分二厘マデ
行ツテ居リマス、ソレカラ本年ノ一月ニ入
ツテ來テ幾ラ高クナツテ來テモ六分一厘カ
ラ二厘ニ居リマス、之ヲ全部ノ株、大體ノ
取引所ノ表ニ現ハレテ居ル、株ノ平均デア
リマスガ、一般ヲ混ゼタニシタ所デ五分七
厘カラ八厘ニナツテ居リマス、サウシマス
ト、是ナリデ行クト公債ノ消化ト云フモノ
ハ此ノ保険會社デハ出來マセヌ、鞘ガ大キ
イデスカラ——是ハ人情デゴザイマス、大
藏省ガ之ヲ強イテ行クト云フコトニナルナ
ラバ、立法的ニ責メテ行ケバソマデデセ
ウケレドモ、立法的ニ責メナケレバヤハリ
保険會社ト云フモノハ、苦シ紛レニ公債ヲ
持ツノライヤガツテ、株ヤ社債ヲ持ツテ行
クト云フノハ、是ハモウ已ムヲ得ヌ所デア
ラウト思ハレル、ソレデ商工大臣ノ所管ノ
事務カラ申シマスト、取引所ハ所管事務デ
アリマスルカラ、其ノ點ヲ承リタイノデア
リマス、先程モ御話ガアツタノデスガ、投
機資金ト投資資金トノ、此ノ運用ニ付テ、
モウ少シ此ノ投機資金ト云フモノヲ抑ヘテ
行クコトガ出來ヌカ、投機資金ニ流レル金
ガ全國通ジテ四十一億アルト云フコトヲ

同ツテ居リマスガ、此ノ投機資金ヲ投資資
金ニ流レサシテ行ク所ノ一ツノ方法ヲ考ヘ
テ戴クト云フト、此ノ公債ト社債ト株トノ
利廻リノ幅ト云フモノガ狹マツテ來テ、モ
ウ保險會社ノ如キハ公債ヲ持チ易イヤウニ
ナツテ行クノデアリマスガ、是ガ詰リ配當
率モ考ヘテ行カナケレバナラヌケレドモ、
サウナツテ行クト配當率ヲ自然ニ下ダテ行
カナケレバナラヌコトニナリマス、ソレデ
此ノ保險業法ニ關スル一ツノ御考トシテ、
遊金ノ運用ニ付テハ成ベク斯ウ云フ際ニハ
公債ヲ餘計持タス、持タスニ付テハ、株ノ利
廻ヲ下ダセナケレバイカヌ、サウスルト
株ノ利廻ヲ下ゲルニハ株ノ值ヲ上ゲルカ、
配當ヲ減配サセルカ、ドツチカヤツテ行カ
ナケレバ、株ノ利廻ハ下ラヌ、ドツチカノ
方法ニ依ツテ、株ノ利廻ガ下ダラレルナラ
バ、自然授機資金ガ抑ヘラレテ、投資資金
ニソレガ流レテ來ル、斯ウ云フヤウナコト
ニシナケレバ、國策ノ線ニ沿ウタ保險會社
ノ資金ノ運用ニ付テハ、公債ナンカハ持テ
ヌダラウト思ヒマスルガ、之ニ付テノ商工
大臣ノ所見ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス

Digitized by srujanika@gmail.com

實ニ又有利デナケレバナラズ、又其ノ會社ノ實力ト申シマスカ、財政經理ノ實情ニ即シテ考ヘテ行カナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、御話ノ如ク現下ノ時局ニ鑑ミマシテ、國債ノ持分ヲ成ベク多クスルト云フコトハ、何人モ希望スル所デアルノデ、之ニ關シテ御承知ノヤウニ過去ニ於キマシテモ、時局以來當局ニ於キマシテ出來ルダケ國債ノ保有高ヲ増加スルコトニ努メテ來タノデアリマスガ、御承知ノヤウナ理由ニ依リマシテ或ル程度ニ是ハ止マルト云フコトハ、已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、今後ノ資金ノ運用ノ點カラ、殊ニ國債ノ消化ト云フ點ニ付キマシテ、保險會社ノ國債保有ノ獎勵ト云フコトニ付キマシテハ、最モ是等ノ問題ニ關係ノアリマス責任ノ大藏省、及ビ日銀等トモ打合セ致シマシテ、努力致ス考デアリマス、之ニ關聯シテ只今最後ニ御話ノ公債、社債等ノ利廻ノ實情カラシテ、投機資金ヲ投資資金トシテ、是ガ分配竝ニ運用ニ付テドウスルカト云フ問題ハ、商工省トシテハ實ニ御答シニクイヤウナ問題デアリマス、併シナガラ只今御述ベニナリ、又只今私ガ御答申上ゲマシタ保險會社ノ資金運用ニ付キマシテ、最モ關係ノアルコトトハ存ジマス、是ハ私ハ大藏當局カラ御答

要デハナイカト云フコトヲ尋ネテ居ルノデスガ、ソレガ御分リニナラナイ、取引所ハ商工省方所管サレテ居ルニ違ヒナイ、大藏大臣デハナイ筈ダ、デスカラ投機資金ト云フモノヲダブ付カセテ置イテ公債消化ヲシロト言ツテモ、保險會社ハシマセヌカラ、投機資金ノダブツキヲ是正スルニハ、取引所ヲモウ少シ取締ヲ強化シナケレバナラヌノデヤナイカト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデスガ、ソレナラアナタハ御専門ノコトデモアリマスカラ、ソレニ對スル御答ヲ願ヒタイ

○八田國務大臣 只今ノ御尋ノ趣旨ハ分りマシタガ、是ハ只今申上ゲタヤウニ、單ニ取引所ダケノ見地カラ此ノ問題ヘ御答シニクト思ヒマス、ノミナラズ假ニ取引所ダケノ點カラ申シマシテモ、是ハ輕々ニ判断

○八田國務大臣 只今ノ御尋ノ趣旨ハ分りマシタガ、是ハ只今申上ゲタヤウニ、單ニ取引所ダケノ見地カラ此ノ問題ヘ御答シニクト思ヒマス、ノミナラズ假ニ取引所ダケノ點カラ申シマシテモ、是ハ輕々ニ判断

○紅露委員 成ベク私ノ留保シタ點ヲ御忘レナク、早ク廻シテ戴キタイト思ヒマス

○田中委員長 分リマシタ

○紅露委員 ソレデハ商工大臣オ見エデアリマスカラ、質問ト云フヨリモ寧ロハツキリ御言明ヲ願ヘバ宜シイノデアリマス、ソリマスガ、此ノ委員會デソンナコトヲ發表スペキ限リデモアリマセヌシ、又必要モア御言明モアツタノデアリマス、ニモ拘ラズヤハリサウ云フ「デマ」ガ盛ニ飛ンデ居リマス、其ノ「デマ」ノ出處モ私若干知ツテハ居リマスガ、此ノ委員會デソンナコトヲ發表ニモ、サウ云フコトハ商工當局トシテモ、監督官廳トシテモ確ニ耳ニシテ居ルト云フヤウナ御話デアリマシタカラ、ソレデ此ノ

際此ノ法案ガ成立シテモ、規模ノ小ナル會社、或ハ所謂弱小會社ト世間カラ言ハレテ居ルモノヲ、直チニ整理スル法律案デハ決シテナイノダト云フ點ヲ、御言明ヲ願ヒタイノデアリマスガ、御デト申上ゲテハ洵ニ失禮デアリマスガ、御言明ト同時ニト申シマスカ、斯ウ云フコトヲ含メテ御言明ヲ願ヒタイト思ヒマス、昨日モ是ト同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス、鐵道省ノ御管轄ニ小運送法ト云フノガ出タノデアリマス、是ハ御承知ノ通りニ大臣モ其ノ道ノ方ディラツシャイマスガ、長イ間指定非指定デ小運送人ガ争ヒ、公認非公認デ争ヒマシテ、非公認ノモノハ其ノ運動資金ト稱シテ一軒カラ十圓カ二十圓カ集ヌテ、何十万圓カノ金ヲ集メテ鐵道省ニ捻込ムトカ色々ナコトヲヤツテ居リマシテ、前デシタカ元デシタカ某代議士ハ固圍ノ人トナルト云フヤウナ、醜イコトマデ出タノデアリマス、幸ニシテ小運送法ガ出マシテ、私共委員トシテ成立セシメタノデアリマスガ、其ノ時ニ、時ノ伍堂鐵道大臣ハ、イヤ此ノ法律案ガ出テモ決シテ今ノ運送業者ヲ誠ルコトハシナイノダ、決シテ統制シナインダ、整理シナインダト云フコト

ヲ、ハツキリ委員會デ仰セラレタノデアリ
マス、併シ御承知ノ如ク伍堂サンハ御辭メ
ニナリ、中島サンガ鐵道大臣ニナラレ、今
デハ前田サンガ大臣ニナラレタ、所ガ中島
鐵道大臣閣下ノ末頃カラ現在ニ掛ケテハ、御
承知ノ如ク一驛一店主義デ、合併シロ、廢
止シロト云フヤウナコトガ盛ニ強要セラレ
マシテ、ヤラナイト色々窘メラレル、窘メ
ルト云フノデハナイデセウケレドモ、睨マ
レル、仕方ガナイカラ統制サレテ行クト云
フヤウナ事實ガアルノデアリマス、殊ニ商
工大臣閣下ニ於カレテハ、鐵道省ニ長ク御
經驗モ持ツテ居ラレマスノデ、其ノ邊ノ事
情ハ申上ゲヌデモ御承知ダラウト恩ヒマス
ガ、幾多ノサウ云フヤウナコトヲ聞クノデ
アリマス、而モ其ノ時ニサウ云フ御言明ヲ
御願シマシタノハ私デアリマシタ、デアリ
マスカラドウモ大臣閣下ガ本會議アタリ
デ、ソンナコトハナイノダト仰セラレテ
モ、業者ハ實ハ信用セヌダラウト恩ヒマ
ス、業者ノミナラズ、外交員アタリハ盛ニ
ソレヲ吹聴スルノデアリマス、サウ云フ「デ
マ」ヲ持ツテ歩クノデアリマス、此ノ際御管
轄ノ中ノコトデアリマセヌケレドモ、大
臣閣下特ニ御經驗ノ深イ鐵道省ノ——小運
送法、「小」ト云フ字ガ附イテ居ルカラ洵ニ小

ノ如ク鐵道省三十年來苦シング法案デアリマス、漸ク數年前ニ成立シタノデアリマス、此ノ小運送法ガ今サウ云フヤウナ實情ニアルモノデスカラ、盛ニ「デマ」ガ飛ンデ居リマス、ソレデドウカ一ツ大臣閣下カラ此ノ委員會ヲ通ジテ、千數百万ニ餘リマスル加入者、被保險者及ビ此ノ業者ニ對シテ、此ノ法案成立後ト雖モ決シテ整理統制ハシナイノダト云フコトヲ、事務當局——政府委員カラハ昨日御言明ガアリマシタガ、モウ一遍御言明ヲ願ヒタイ、尙ほソレニ附加シテ御願シタイコトハ、ドウモ其處ガ牧政府委員ノ御説明、御言明デハハツキリシナイノデアリマス、私共ガ鐵道省ノ運輸局長アタリ、或ハ喜安次官アタリニ伺フト、ドウモ其處ガハツキリシナイノデアリマス、實ハ斯ウ云フヤウナ色々ナ不成績ノコトガアツテ仕方ガナイカラ、是ハ統制スルノダントスウ云フヤウニ仰セラレルノデアリマス、所ガ其ノ整理統制スル原因ナルモノハ、大抵貨物引換證ヲ悪用シタトカ、運送料金ヲ胡麻化シテ澤山取ツタトカ云フノデアリマセウ、併シサウ云フヤウナ事實ハ段々調べテ見マスト、ヤハリ小運送法實施前ノモノガ多イノデアリマス、ソレデ此ノ

御言明ニ附加シテ御願シタイコトハ、今デモ
嚴重ニ會社ノ內容ヲ調べテ行ツタラ、如何
ハシイモノモアリマセウ、又非難スペキ保
險會社ガ必ズシモナイトハ申セマセヌ、又
私共ノ幾多ノ經驗ニ徴シマシテモ、相當惡イ
レドモ、兎ニ角此ノ法律ニ依ツテ——此ノ法
律成立後ニ政府ノ御勸告ニ依リ、或ハ御注
意ニ依ツテ、自肅自戒シテ業績ノ發展スル
コトニ努力シテ居ルモノハ——昨日モ實例
ヲ御示シニナリマシタガ、餘リニ酷イモノ
デナケレバ、直チニ此ノ法律ヲ實施シタカ
ラト云ツテポンヽ＼餓ツテ行クノデハナイ
ノダト云フ意味モ含ヌテ、御言明ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

フヤウナ噂等ニ付キマシテハ、是ハ政府ノ考トハ全ク反シテ居ルノデアリマス、要スルニ其ノ目標ハ只今申上ゲタヤウナ點ニアリマスルノデ、決シテ多數ノ會社ヲ徒ニ積極的ニ急激ニ整理スル心構デモ持ツテ居ルト云フヤウナコトハ、絶對ニナイノデアリマス、是ハ申スマデモアリマセヌ、而モ萬人皆方認メテ是ハ抛ツテ置ケスト云フヤウナモノハ、此ノ限デナイト思フノデアリマスルケレドモ、此ノ法ノ精神ハ、サウ云フ所ニハナイノデアリマスルカラ、其ノ點ハ、ハツキリ申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、只今小運送ノ場合ノ例ヲ御引キニナリマシテ御話ガアリマシタガ、私ハ此ノ機會ニ、徒ニ業者或ハ之ニ關係アル人々ガ、不安ニ驅ラレルコトノナイヤウナコトヲ希望致シテ已マヌ次第デアリマス

○紅露委員 淵ニ御親切ナル御言明デ感謝致シマス……
○田中委員長 一寸紅露君、御話中デスガ、大臣ハ五時マデシカ此處ニ居ラレナイノデアリマシテ、後ニマダ二三質問者が殘ツテ居ラレマスカラ、成ベク均等ニヤツテ戴キタイト思ヒマスカラ、其ノ御心組デ御願致シタイト思ヒマス
致シマシテ、此ノ多數ノ弱小會社ヲ整理スルノダ、斯ウ云フ風ニ言ウテ居ルガ、ソレ等ノ一部ノ――私ハ一部ト先ニ申上ゲタ、一部ノ會社ヲ整理スルノデハナイ、サウ云フ噂ガ間違ツテ居ルノダト云フ意味デ申上ゲタノデアリマシテ、多數ト云フノハ別段特別ナ意味デハナイ、弱小ト云フ、一群ト云フテ、ドウモ繼續困難ナリト認メタモノハ仕方ガナイト、斯ウ云フヤウナ御言葉ガアツタヤウニ私拜聽シタノデアリマスガ、其ノ

言葉ヲ決シテ揚足ヲ取ルト云フ譯デハアリマセヌ、其ノ意味ヲ靜ニ齎味シテ見マスト、ヤハリ政府ハ此ノ法案ガ出來タラ、或ル程度ノモノハ整理スルノダト云フコトヲ、大臣ノ今ノ御言明カラ推知シ得ルト思フノデアリマスガ、左様ニ諒承致シテ宜シウゴザイマスカ、イヤソレハサウ云フ意味デナイノダト云フ、更ニ大臣閣下カラ御言明ガ願ハレマセウカ、何レカ一ツハツキリ願ヒタイト思ヒマス
○八田國務大臣 私ガ多數ト申シマンタノハ、吾々ノ耳ニモ此ノ法案ガ通レバ、積極的ニ多數ノ會社ヲ――私ハ弱小會社ト云フ言葉ハ使ヒタクナイト思ヒマスカラ避ケルノデアリマス、ソレデ多數ト云フ字ヲ假ニ置換ヘタノデアリマス、今弱小會社ト云フモノハ、相當多數アルト云フ風ニ世間ガ推察致シマシテ、此ノ多數ノ弱小會社ヲ整理スルノダ、斯ウ云フ風ニ言ウテ居ルガ、ソレ等ノ一部ノ――私ハ一部ト先ニ申上ゲタ、一部ノ會社ヲ整理スルノデハナイ、サウ云フ噂ガ間違ツテ居ルノダト云フ意味デ申上ゲタノデアリマシテ、多數ト云フノハ別段特別ナ意味デハナイ、弱小ト云フ、一群ト云フテ、ドウモ繼續困難ナリト認メタモノハ仕方ガナイト、斯ウ云フヤウナ御言葉ガアツタヤウニ私拜聽シタノデアリマスガ、其ノ

マセウカ、此ノ法ノ一部ヲ發動シナケレバ、シ成ベクナラバ五時マデニ、居ラレル間ニナラヌト云フコトガ、是ハ私ハサウ云フモ濟マセルモノハ濟マシテ戴キタ、サウデモアリマセヌガ、國營ノ問題デアリマス、モアリマセヌガ、國營ノ問題デアリマス、此ノ前本會議デ民政黨ノ田村氏カラ國營ニモアリマセヌガ、國營ノ問題デアリマス、商工大臣閣下ダケ先ニ伺ヒマシテ、後ハ又他ノ機會ニ御願スルコトニ致シマス、外デモアリマセヌガ、國營ノ問題デアリマス、此ノ前本會議デ民政黨ノ田村氏カラ國營ニスル意思ガナイカドウカト云フ御話ガ出タヤウニ思ツテ居リマス、此ノ委員會ニ於キマシテモ、色々サウ云フヤウナ質問ガ出タヤウデアリマスガ、厚生大臣ハ慥カ、私ノシタカラ、決シテ長クハ申上ゲマセヌガ、モウ大臣ハ此ノ委員會ニハ御出席ガ願ヘナシタカラ、決シテ長クハ申上ゲマセヌガ、今ノ所國營ニス讀違ヒカモ知レマセヌガ、今ノ所國營ニスル意思ハナイト云フ風ナ御言明デアリマシタ、商工大臣ニ於カセラレテハ、厚生大臣イノデゴザイマセウカ、又御出席ガ願ハレルノナラ、モウ私ノ質問ハ是デ止メテモ宜シモ御言明ガナイ、マア國營ト云フコトニケレバ、更ニ相談スル積リデ居リマス、併憶致シテ居ルノデアリマスガ、或ハ私ノ記憶

達ヒカモ知レマセヌ、併シマア私共ガ斯ウ
ヤツテ、此ノ委員會ニズツト居ツテ見テ居
リマスト、民政黨ノ人カラ本會議デ國營ノ
話ガ出ル、第一議員俱樂部ノ小池君ナンカ
モ「パンフレット」ヲ出シテ居ル、亡クナラ
レタ林君モ國營ノ「パンフレット」ヲ出シテ
居ル、又此ノ委員會ニ於キマンシテモ、殆ド
質問サレル各委員カラハ、皆國營問題ガ口
ヲ衝イテ出ルノデアリマス、私共モ國營ヲ
主張シタイト思ツテ居ル一人デアリマス
ガ、唯私ハ素人デアリマシテ、或ル動機力
ラ一二年國營論ニ付テ研究シタト云フコト
ト、他ノ學者ヤ、實際家ヤ、業者ガ色々
モウ少シ研究シタイト思ツテ居ルノデ、今
主張ハ致シマセヌガ大體國營ト云フコトガ
議會ニ於キマシテモ唱ヘラレ、大臣閣下モ
御承知ノ通リニ、昨年デシタカ一昨年デシ
タカニ、林君一派ノ人ガ建議案デシタカ請
願デシタカ、慥力本院ニ提案サレマシタ、
サウシテ委員會ハ通過シタノデアリマス、
國營可ナリ、國營斷行スペシト云フコトニ
ナツタノデアリマスルガ、本會議ニ於テ不
幸ニシテ否決ニナツテ居リマス、遠イ歴
史ヲ辿リマシテモ、幾多ノ人ガ本院ニ建議

案トカ請願ナンカヲ出シタ事例モアルノデ
アリマス、大分斯ウ云フ風ニ國營問題ガ擡
頭致シテ居リマスルガ、他ノ省ノコトハ又
後デ伺ヒマスケレドモ、商工省トシテ、本
會議ニ於テ大臣閣下ノ御言明、御答辯ノ如
ク、唯將來是ハ考慮スルノダトカ、マア考
ヘテ見ルトカ云フヤウナ風デ、斯ウ云フ劃
期的ノ法案ノ大改正ニ際シテ、一顧ダモ加
ヘナカツタノデアリマスカ、ソレトモ省内
ニハ相當此ノ國營ト云フコトニ付テ議論ハ
アツタノデアリマスルカ、ソレトモ又保險
國營ト云フコトニ付テ何等ノ關心ヲ持タ
ズ、何等調査モセズ、疇ニモ上ラナカツタ
ノデアリマスカ、唯考慮スルト云フヤウナ
意味ダケデハ、是ダケ日本全國ニ翕然トシ
テ起ツテ居ル此ノ國營論ヲ、一部三十三
社ヤ四社ノ業者ノ便宜ノ爲ニ此ノ法案
ヲ審議シテ、將來國營ニ進ムベキモノ
ヲ、一時ココデ小康狀態ニ置クト云フコ
トハ、國家ノ政策トシテドウカト思フ
ノデアリマス、殊ニ又先程私共ノ幹部室デ
十二三人寄ツテ、オ前何ヲシテ居ルカト
云フコトヲ話シタノデアリマス、サウスル
ト保険國營ノ問題ガ出タラウト言フ人ガア
リマシテ、ソレニ端ヲ發シテ皆意見ヲ吐キ

マシタガ、十二三人居リマシタガ、殆ド
十人ハ國營ニ贊成論デアリマス、二、三ノ
ヤウニ控室ニ於テモ、委員會ニ於テモ、本
會議ニ於テモ、亦閣下御承知ノ如ク、幾多
保險ノ機關雜誌ニモ、國營論ノ文字ガ出ナ
イ雜誌ハナイ位ノ情勢ニナツテ居ルニモ拘
ラズ、斯ノ如キ劃期的ノ法案ヲ御出シニナル
際ニ、何等御考慮モ拂ハレズ、又此ノ輿論ヲ
無視——ト言ツテハ失禮デスガ、少シモ考
慮セラレズシテ、斯様ナ案ヲ唯過渡的ニ御
出シニナツタモノカドウカ、ソレカラ是ハ
風説デアリマスガ、我黨ノ或人ガ保險國營
ノ建議案ヲ出スト云フノデ、今調印ヲ取ツ
テ居ルヤニ聞イタノデアリマスガ、斯様ナ
情勢ニ、社會ト云ハズ、議會ト云ハズ、保險契約
者ト云ハズ、保險業者ト云ハズ、保險業者
者ハ勿論、翕然トシテ日本全國ニ起ツテ居
ル此ノ國營ノ聲ヲ、厚生大臣閣下ハ如何ニ
見ラレテ居ルカ、又此ノ法案ヲ御出シニナ
ルニ際シテ、御考慮ニナラナカツタカドウ
トシタナラバ、將來之ヲ如何ニ御取扱ニナ
ル御積リデアルカ、又此ノ法案ハ保險國營
ノ前提トシテ御出シニナツタノカドウカ、
此ノ點ヲ伺ヒマス、最早大臣閣下ハ此ノ委

員會ニ御出席ガ願ハレナイトスルナラバ、此際御言明ヲ得ラレレバ結構ダト思ヒマス
○八田國務大臣 只今御尋ニナリマシタ國營ノ問題デアリマスガ、商工省ニ於キマシテモ、此ノ問題ニ付テハ相當研究ヲ致シタノデアリマス、又本法改正ニ關シテ設ケラレマシタ委員會等ニ於テモ、相當話ガ交換サレテ居ルノデアリマス、商工省ト致シマシテハ、世間ニ左様ナ論者モアリ、又長期間議會等ニ於テモ現ハレタ問題デアリマスカラ、本法案ノ制定ヲ決スル以前ニ於キマシテ、隨分此ノ國營ト云フ問題ニ付テハ研究ヲ致シタノデアリマス、併シナガラ是ハ白紙ニ字ヲ書ク場合ナラバ別デアリマスケレドモ、既ニ數十年ノ歴史ヲ以テ發達シ來ツタ所ノ我國ノ保險事業ニ、相當ノ改正ヲ加ヘテ行クナラバ國營ノ如キ百「ペーセント」ノ效用ヲ發揮出來ナイカモ知レマセヌガ、他面民營事業ハ國營ノ及バザル長所モ有スルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ鑑ミニマシテ、最善ノ方法トシテ今回此ノ改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、隨ヒマシテ本案ノ精神ノ中ニハ、國營ノ長所トセラル點ヲ出來ルダケ加味シテ居リマスト同時ニ、今日マデ發達シテ來マシタ我國ノ保險

事業ノ長所ヲモ、亦失ハナイヤウニ考ヘテ
アルコトヲ申上ゲルコトガ出來ルト思フノ
デアリマス、先日本會議ニ於テ、私方最初
テ居ラヌト云フコトヲハツキリ申上ゲタト
思フノデアリマス、其ノ次ニ別ノ御方ノ御
質問ニ於テ、積極的ニ國營ニスル意思ナキ
ヤト云フ、將來ニ付テノ御問ガアリマシタ
カラ、私ハ此ノコトニ付テハ今後研究ヲシナ
ケレバナラヌト思フト云フ意味ヲ、言葉ハ
只今覺エテ居リマセヌガ、サウ云フ氣持デ
御答シタ、ソレハ苟モ世ノ中ニ國營ト云フ
コトニ對シテ相當論議ガアリマスル以上、
當局ト致シマシテモ、是ハ相當研究ハ續ケ
ナケレバナラヌト云フコトハ、責任上然ル
ベキモノデハナイカト考ヘマシテ、左様御
答シタノデアリマシテ、其ノ點ノ氣持ハ變
ツテ居ラヌノデアリマスガ、御質問ノ趣旨
ニ副ヒマスルヤウニ、當局ノ持ツテ居リマ
スル信念ヲ御答シタ次第デアリマス

論ゼラレテ居ル此ノ際ニ、商工當局トシテ、
如何ニ今後此ノ問題ヲ御取扱ニナルカラ重
ネテ伺ツテ置キタイト思ヒマス、重要ナ問
題ダカラ、將來研究ヲ續ケテ御出デニナル
御考デセウカ、ソレトモ此ノ法案が出來タ
カラ、モウ是デ國營ナドハ一時打切ツテシ
マウノカドウカ、又先日政府委員ニ豫備的
質問ト云フ意味デ、是ハ各省ニ御相談ニナ
リマシタカト伺ヒマシタ際ニ、内務省、司
法省、大藏省、拓務省マデ御相談ニナツタ、
又企畫院、法制局等トモ全部御相談ニナツ
タト云フコトヲ茲ニ書イテ居リマスガ、或
ハ是ハ私ノ間違ヒデアツタカモ知レマセヌ
ガ、サウ云フ風ニ各省ニ御相談ニナル際ニ、
唯單ニ今度ノ改正案ノミニ付テ御相談ニナ
ツタモノデアリマセウカ、或ハ又保険國營
ト云フ重大ナ問題ガアルガ、各省ハソレニ
トモ御相談ニナツタデアリマセウカ、此
ノ二點ニ付テ 簡單デ宜シウゴザイマスカ
ラ、モウ一度御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○八田國務大臣 第一ノ御質問ニ對シマシ
テハ、只今申上ゲマシタヤウニ、世ノ中ニ
國營論ト云フモノガアリマス、勿論此ノ法
案ヲ作ル前ニ委員會ニ於テモ、商工當局ト
シテハ十分研究致シマシテ作ツタノデアリ

マスケレドモ、今後ニ於テモ此ノ國營ト云
フ問題ニ付テハ、當局トシテハ研究ヲ續ケ
テ行ク積リデアリマス、併シナガラ其ノ研
究ヲ續ケルト云フコトハ、本法案ニ何等動
搖ヲ來スモノデハナイト云フコトヲハツキ
リ申上ダマス、モウ一ツノ點ハ政府委員ヨ
リ御答致サセマス

○牧政府委員 關係各省ト本法案提出ニ際
シテ、國營ニ付テノ協議ヲシタカト云フ御
尋デアリマスガ、御承知ノ通り國營ニ關ス
ル問題ハ、紅露サンノ御述ノ通リニ、議會
ニ於テハ建議等ノ際ニ論議サレマシテ、各
省トモ度々意見ノ交換ヲ致シ、一致シタ所
ノ意見デアリマス、ノミナラズ此ノ改正法
案ヲ議スル委員會ニ於キマシテ、今仰セノ
ヤウナ各省カラ委員が出テ居リマシテ、一
致シタ意見トシテ、國營論ニ付テハ保險事
業ノ經營形態ニ關スル重要問題トシテ、尙
ホ一層研究スル必要ガアル、併シナガラ只
今ノ所デハ國營ニスルコトヲ良イ方法デア
ルト認メル譯ニハ行カヌト云フコトニ、意
見ガ一致シテ居ル譯デアリマス

○紅露委員 今ノ點ニ付テモウ一度伺ヒタ
イ、政府委員ノ御答辯ハ一寸間違ツテ居リ
ハセヌカト思フ、各省カラ出テ居リマシタ
委員ハ、法案審査ニ付テ適任者ナリト御認

ニナツタカラ御任命ニナリ、又御出席ニナ
ツテ居ツタノデ、ソレハ何モ民事局長ガ出
テ居タカラト云ツテ、其ノ人ガ司法省ヲ代
表シテ居タ譯デモナケレバ、大藏省カラ誰
ガオ出デニナツタ所ガ、ソレハ別ニ大藏省
ノ意思ヲ體シテ來テ居ルモノデナイト、私
ハ官制上認メテ居ルノデアリマス、デスカ
ラ今ノ御答辯ノ、各省カラ色々ナ人ガ來テ
居ルカラ、各省ノ意思ハサウダト云フノハ、
ソレハ私ハ違フト思フ、苟モ此處ニ斯ウ云
フヤウナ大法案ヲ出すス際ニハ、ヤハリ商工
當局トシテ斯ノ如キ案ガ決定シタ、併シ是
ニハ斯ウ云フヤウナ重大問題ガアルノダト
云フコトヲ、一省ヲ代表スル大臣カラ、ヤハ
リ一省ヲ代表スル所ノ大臣ニ、正式ニ御交
渉ガナケレバナラスト思フ、サウ云フ意味
デノ御答辯ナラバモウ分ツテ居リマス、國營
問題ニ付テ別ニ政府全體ガ研究シタコトハ
ナイノダ、斯様ニ謹承致シマス、尙ホ色々
聽キタイコトモアリマスケレドモ、他ノ諸
君ノ御質問モアラウト思ヒマスカラ、商工
大臣閣下ニ對スル質問ハ、又御出席ガアレ
バサセテ戴クコトニ留保致シマス

レデハ陸軍政務次官ガ御見エニナツテ居リ
マスカラ、紅露君

○紅露委員 大變御多用中ノ所恐レ入リマ

スガ、御答辯ハ只今デナクテモ結構デアリ
マス、要點ハ今申上ゲマシタヤウニ國營問
題ニ付テデアリマス、電力國營ノ時ニ新聞
紙上デ私共拜見シタノデスガ——新聞ノ記

事ハ嘘ダト言ヘバソレマデデアリマスガ、
軍部ハ相當電力問題ニ付テハ御支持ニナ
リ、又御後援ナサツテ居ツタヤウデアリマ
ス、此ノ保險、殊ニ生命保險ノ國營ト云フ
コトニ付テ、先程カラ御聽キ及ビノ諸點ニ
付テ、軍部ハ如何ナル御見解ヲ御有シニナル
カト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、
時間モ切迫致シテ居リマスルカラ、明後日
デモ結構デアリマスガ、御答辯ガ願ヘレバ
ト思ゾテ御出席願ツタノデアリマス

○西村政府委員 紅露委員ノ御質問ニ付キ

マシテハ、私少シ前ニ参リマシタノデ詳細

承ツテ居リマセヌガ、只今商工大臣ニ御質
問ニナリマスルコトヲ承ツタ所カラ見マス

ルト、紅露委員ノ國營ニ關スル御質問ノ中
ノ御意見ニ付キマシテハ、段々御尤ノ點ガ

アルヤウニ思ヒマス、併シ此ノ問題ハ、影
響シマスル所ガ御承知ノヤウニ可ナリ甚大
ナ問題デゴザイマスカラ、此ノ問題ニ付テ

ノ陸軍トシマシテノ贊否ヲ申上ゲルコトニ
付キマシテハ、尙ほ慎重ニ研究致シテ見タ
イト思ツテ居リマス

○紅露委員 サウスルト御歸省後御打合セ
下サイマシテ、又御答辯願フト云フ意味デ
ゴザイマスカ

○西村政府委員 私ノ只今答ヘマシタコト
デ御不満デゴザイマスナラバ、御質問ノ全
部ヲ知悉致シテ居リマセヌカラ、能ク速記
録ヲ拜見致シマシテ御答スルコトニ致シマ
ス

○紅露委員 ソレデ結構デアリマス、是デ
私ノ本日ノ質問ハ打切りマス

○田中委員長 ソレデハ今日ハ此ノ程度デ
散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ知ラセマ
ス

午後五時四分散會

昭和十四年三月四日印刷

昭和十四年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局